

国語 科目 現代の国語

单位数： 2 单位

使用教科書：（143筑摩現国712『現代の国語』（筑摩書房）

の目標：

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			読	書 読					
1 学 期	評論文を読む 【知識及び技能】 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ことばの働きや、文章の種類による論理の展開の違いについて関心を持つ。	・指導事項 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・教材 「ことばとは何か」 「デジタル社会」 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味を調べる。 自分の意見を分かりやすく伝える。 する。	○	○	【知識及び技能】 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ことばの働きや、文章の種類による論理の展開の違いについて関心を持つとうとしている。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		1
	ことばで伝える 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。 ・教材 「システムと変異」 「ことばがつくる男と女」 「わかっていることないこと」 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味を調べる。 意見を交流する。	○	○	【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主張と論拠による論理構成や根拠の示し方について関心を持つとうとしている。	○	○	○	15	
	定期考査						○	○	
2 学 期	根拠と主張を理解する 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使う。 【思考力、判断力、表現力等】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 ・教材 「〈私〉時代のデモクラシー」 「魔術化する科学技術」 「身体、この遠きもの」 ・一人1台端末の活用 等 メモを取る。 自分の文章を校正し、発表する。	○	○	【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 話し言葉と書き言葉の違いや、話し合いの仕方に興味を持つことができる。	○	○	○	13	
	定期考査					○	○		1
	伝え合うこと 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成を評価する。 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめ、自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 目的や相手に即した聞き方、話し方、書き方の違いに関心を持つ。	○	○	【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成を評価することができる。 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめ、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 目的や相手に即した聞き方、話し方、書き方の違いに関心を持つとうとしている。	○	○	○	13	
	定期考査						○	○	

3 学 期	表現のみがき方 【知識及び技能】 推論の仕方を理解し実際に用いる。 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、情報を相互に関係付けながら自分の考えを深める。 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめ、自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報との関係や、書き手の意図や工夫に関心を持つ。	・指導事項 実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、情報を相互に関係付けながら自分の考えを深める。 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめ、自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 ・教材 「主体という物語」 「リスクという社会」 「開かれた文化」 ・一人1台端末の活用 等 目的や意図に応じて図表を読む。 情報の妥当性について検討する。	○	○	【知識及び技能】 推論の仕方を理解し実際に用いることができる。 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、情報を相互に関係付けながら自分の考えを深めることができる。 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめ、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報との関係や、書き手の意図や工夫に関心を持とうとしている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1

	自然の感じ方 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・唐詩に興味を持ち、作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとする意識を持つ。	・指導事項 ・話の展開をとらえ、作者が話に込めた意図を読み取る。 ・漢詩の形式や詩の表現の特徴を理解する。 ・自然をうたった詩、友情をうたった詩、人生をうたった詩を、それぞれ読み味わい、表現の工夫をとらえる。 ・教材 「丹波に出雲といふ所あり」「花は盛りに」 唐詩「登鸛鵲樓～香炉峰下、新卜山居」 「夢十夜」 ・一人1台端末の活用 等 メモを取る。 自分の文章を校正し、発表する。	○	○	【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。〔(2)イ〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。〔(1)オ〕 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【学びに向かう力、人間性等】 ・唐詩に興味を持ち、作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。	○	○	○	22
	定期考査					○	○		1
3 学 期	文学と社会 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をととして他者や社会に意欲的に関わろうとする意識を持つ。	・指導事項 ・物語の表現の特徴をとらえる。 ・物語の展開を整理し、登場人物の心情を理解する。 ・『論語』について書かれた文章を読み、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。 ・翻訳作品の表現の特徴や意義について、理解を深める。 ・教材 「木曾の最期」 「朝三暮四」「雑説」 「待ち伏せ」 ・一人1台端末の活用 等 目的や意図に応じて図表を読む。 情報の妥当性について検討する。	○	○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B(1)オ〕 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をととして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。				18
	定期考査								1

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 地理歴史 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数： 2単位
対象学年組：1年1組～8組
教科担当者：柴田 匡俊 安部 敬
使用教科書：東京書籍 『新選歴史総合』（歴総 701）

教科 地理歴史 目標： 近現代史を中心に学びを深め、そこから現代のさまざまな課題について考察する。

様々な「問い」やその問いに関わる資料をもとに、解決するための考え方や方策を主体的に探究する姿勢を育む。

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる機能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力】	地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる今日的な課題の解決に向けての構想力、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関する諸事情について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての実家有、我が国の国土や歴史に対する深い理解、他国や多文化主義の考え方を尊重することなどの自覚深める。

科目：歴史総合の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関する諸事象について、世界のその中の日本を広く相互的な視野から捉え、今日的な諸課題の形成に関する近現代の歴史を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色など、時代や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したりする力や効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現に向けた課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する正しい理解、他国や多文化主義の考え方の大切さについての意識を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配 当 時間
1 学 期	歴史の扉「歴史と私たち」 【知識及び技能】 身近な諸事象と日本や世界とのつながりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な諸事情と日本や世界とのつながりについて考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、私たちの生活と日本や世界とのつながりについて理解する。	【指導項目】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域に見られる諸事象が日本や日本周辺の地域、世界の歴史につながっていることを理解させる 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】 Forms を活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など	【知識・技能】 私たちの生活や身近な諸事象と日本や世界とのつながりについて理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの変化と関わらせて、私たちの生活や身近な諸事情と日本や世界とのつながりについて考察し、表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 科目全体の学習の見通しを立てて、課題を追究しようとしている。	○	○	○	2
	歴史の扉「歴史の特質と資料」 【知識及び技能】 歴史的営みに関する資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	【指導項目】 日本や世界のさまざまな地域の人びとの歴史的営みの記録である遺物、文書、画像などの資料を活用して、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解させる。 前近代の歴史について、中学校での学習を振り返り、次の学習につなげさせる。 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】 Forms を活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など	【知識・技能】 私たちの生活や身近な諸事象と日本や世界とのつながりについて理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 複数の資料の関係や異同に着目し、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察、表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校での学習内容を振り返り、次の学習につなげようとしている。	○	○	○	2
	近代化と私たち「近代化への問い」 【知識及び技能】 近代化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立てて、課題を追究する。	【指導項目】 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家庭、移民など、さまざまな資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現させる。 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】 Forms を活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など	【知識・技能】 近代化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしようとしている。 【思考・判断・表現】 近代化に伴う性悪や社会の変容についての考察し、問いを表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立てて、課題を追究しようとしている。中学校での学習内容を振り返り、次の学習につなげようとしている。	○	○	○	2
	近代化と私たち「結び付く世界と日本の開国」 【知識及び技能】 ・アジアや日本における生産と	【指導項目】 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア職工における	【知識・技能】 近代化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめようとしていたりしている。				

	流通などを基に、諸資料から歴史に関する情報を調べまとめ、18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・中国の開港と日本の開国などを基に、諸資料から歴史に関する情報を調べまとめ、工業化と世界市場の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18 世紀のアジア諸国の経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多角的・多面的に考察、表現することを通して、18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・産業革命の影響、中国の開港、日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多角的・多面的に考察、表現することを通して、工業化と世界市場の経済を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、中学校までの学習を振り返りながら課題を追究する。	経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多角的・多角的に考察し、表現することを通して、18 世紀のアジアの経済と社会を理解させる。 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解させる。 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】 Forms を活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など	【思考・判断・表現】 ・18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域と比較したり、相互に関連付け、18 世紀のアジア諸国の経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多角的・多面的に考察したり、表現しようとしている。 ・産業革命の影響、中国の開港、日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けることを通じて、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多角的・多面的に考察したり、表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、中学校までの学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	6
	中間考査	筆記テスト		○	○		1
	近代化と私たち「国民国家と明治維新」 【知識及び技能】 ・18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切、効果的にまとめ、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切、効果的に調べまとめ、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目し、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革や国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較し、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、学習を振り返りながら課題を追究する。	【指導項目】 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲制と国民国家形成を理解させる。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目し、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解させる。 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】 Forms を活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など	【知識・技能】 ・18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切、効果的にまとめ、立憲体制と国民国家の形成を理解しようとしている。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切、効果的に調べまとめ、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目し、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革や国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察したり、表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	8
	近代化と私たち「近代化と現代的な諸課題」 【知識及び技能】 現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史について理解し、説明する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化に関わる諸事象の背景	【指導項目】 自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点を中心に主題を設定し、諸事象の背景や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関する近代化の歴史を理解	【知識・技能】 現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史について理解し、説明しようとしている。 【思考・判断・表現】 近代化に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題に関連付けて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現しようとしている。				

	や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題に関連付けて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 「近代化と私たち」における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだす。	させる。 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】 Formsを活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など	【主体的に学習に取り組む態度】 「近代化と私たち」における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	2
	期末考査	筆記テスト		○	○		1
2 学 期	国際秩序の変化や大衆化と私たち「国際秩序の変化や大衆化への問い」 【知識及び技能】 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から情報を適切に読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立てて、課題を追究する。	【指導項目】 国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソビエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化。生活様式の変化などに関する資料を活用し、国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現させる。 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】 Formsを活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など	【知識・技能】 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から情報を適切に読み取ったり、まとめたりしようとしている。 【思考・判断・表現】 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立てて、課題を追究しようとしている。	○	○	○	2
	国際秩序の変化や大衆化と私たち「第一次世界大戦と大衆社会」 【知識及び技能】 ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長。ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切に調べまとめ、総力戦と第一次世界大戦の国際協調体制を理解する。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切に調べまとめ、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア、太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組み、学習を振り返りながら課題を追究する。	【指導項目】 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】 Formsを活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など	【知識・技能】 ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長。ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切に調べまとめ、総力戦と第一次世界大戦の国際協調体制を理解しようとしている。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切に調べまとめ、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア、太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組みうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	9
	中間考査	・筆記テスト		○	○		1

国際秩序の変化や大衆化と私たち「経済危機と第二次世界大戦」 【知識及び技能】 ・世界恐慌、ファシズムの伸長、日本のタイダイ政策などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切、効果的に調べまとめ、国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、諸資料から歴史に関するさ、さまざまな情報を適切、効果的に調べまとめ、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に降雪し、表現する。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦前後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりして、第二次世界大戦の性格や惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人びとの生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、学習を振り返りながら課題を追究する。	【指導項目】 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化に着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人びとの生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】 Forms を活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など	【知識・技能】 ・世界恐慌、ファシズムの伸長、日本のタイダイ政策などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切、効果的に調べまとめ、国際協調体制の動揺を理解しようとしている。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、諸資料から歴史に関するさ、さまざまな情報を適切、効果的に調べまとめ、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に降雪し、表現しようとしている。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦前後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりして、第二次世界大戦の性格や惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人びとの生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	9
国際秩序の変化や大衆化と私たち「国際秩序の変化や大衆化と現代的諸課題」 【知識及び技能】 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史について理解し、説明する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際秩序の変化や大衆化に関わる諸事象の背景や原因、主題について、現代的諸課題に関連付けて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 「国際秩序の変化や大衆化と私たち」における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだす。	【指導項目】 自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点を基に主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】 Forms を活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など	【知識・技能】 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史について理解し、説明しようとしている。 【思考・判断・表現】 国際秩序の変化や大衆化に関わる諸事象の背景や原因、主題について、現代的諸課題に関連付けて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「国際秩序の変化や大衆化と私たち」における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	2
グローバル化と私たち「グローバル化への問い」 【知識及び技能】 グローバル化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりする。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】	【指導項目】 冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食糧と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人びとの共存などに関する資料を活用し、グローバル化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】	【知識・技能】 グローバル化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしようとしている。 【思考・判断・表現】 グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	2

	グローバル化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究する。	Formsを活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など					
	期末考査	筆記テスト		○	○	1	
3 学 期	グローバル化と私たち「冷戦と世界経済」 【知識及び技能】 ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切、効果的に調べまとめ、国際祭事の変容を理解する。 ・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切、効果的に調べまとめ、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソビエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、学習振り返りながら課題を追究する。	【指導項目】 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の啓示ア政策の特徴、欧米やソビエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。 ・冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、冷戦下の正解啓示アや地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】 Formsを活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など	【知識・技能】 ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切、効果的に調べまとめ、国際祭事の変容を理解しようとしている。 ・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切、効果的に調べまとめ、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソビエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 ・冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	7
	グローバル化と私たち「世界秩序の変容と日本」 【知識及び技能】 ・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の不意友伽、情報通信技術の発展などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切、効果的に調べまとめ、市場経済の変容と課題を理解する。 ・冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切、効果的に調べまとめ、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と	【指導項目】 ・アジア諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景となどに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】 Formsを活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など	【知識・技能】 ・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の不意友伽、情報通信技術の発展などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切、効果的に調べまとめ、市場経済の変容と課題を理解しようとしている。 ・冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切、効果的に調べまとめ、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域藤堂の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら	○	○	○	8

	日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域藤堂の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、学習を振り返りながら課題を追究する。		課題を追究しようとしている。				
	グローバル化と私たち「現代的な諸課題の形成と展望」 【知識及び技能】 歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題について理解し、説明する。 【思考力、判断力、表現力等】 事象の背景や原因。結果や影響などに着目して、主題について、現代的諸課題を展望するなどして、多面的・多角的に考察し、潮にお結果を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 「歴史総合」で学んだすべての内容における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学びに向けた課題を見いだす。	【指導項目】 ・科目のまとめとして、現代的な諸課題に関する主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、歴史的経緯を踏まえ、持続可能な社会に向けて、現代的諸課題の展望を探究する。 ・歴史探究の方法について学び、実際に自分が探究学習をする際に必要な事項を理解する。 【教材】 教科書、資料集、プリントなど 【一人一台端末の活用】 Forms を活用しての振り返り、学習に関連する事項の検索など	【知識・技能】 歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題について理解し、説明しようとしている。 【思考・判断・表現】 事象の背景や原因。結果や影響などに着目して、主題について、現代的諸課題を展望するなどして、多面的・多角的に考察し、潮にお結果を表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「歴史総合」で学んだすべての内容における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学びに向けた課題を見いだそうとしている。	○	○	○	4
	学年末考査	筆記テスト		○	○		1

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 地理歴史 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数： 2単位
対象学年組：1年1組～8組
教科担当者：○●、○●
使用教科書：『地理総合―世界に学び地域へつなぐ―』二宮書店
教科 地理歴史 目標：

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力】	地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる今日的な課題の解決に向けての構想力、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する深い理解、他国や多文化主義の考え方を尊重することなどの自覚を深める。

科目：地理総合 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
	球面上の世界、日本の位置と領域 【知識及び技能】 ・地球上での位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解する。 ・世界地図の主な図法と利用について理解する。 ・国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・球体としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明する。 ・世界地図を図法の違いにより使い分ける。 ・日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組む。 ・様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料などから様々な世界地図の存在に気づく。 ・日本の領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題とともに考える。	・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・地球上での位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解できたか。 ・世界地図の主な図法と利用について理解できたか。 ・国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解できたか。 【思考・判断・表現】 ・球体としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明できたか。 ・世界地図を図法の違いにより使い分けることができたか。 ・日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組むことができたか。 ・様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料などから様々な世界地図の存在に気づくことができたか。 ・日本の領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題とともに考えることができたか。	○	○	○	6
1学期	国内や国家間の結びつき、暮らしのなかの地図とGIS 【知識及び技能】 ・人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につける。 ・統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につける。 ・主題に対して適切な統計地図を作成する。 ・GISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解し、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につける。 ・地理院地図やひなたGISなどインターネット上のGISの機能を利用し、地理空間情報を活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明する。 ・地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察する。 ・身近な地図について、目的により表現方法に違いがあることが判断する。 ・紙の地形図と電子地図の用途や活用について、地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・統計資料を意欲的に読み取り、それを表現する。 ・統計地図の作成に意欲的に取り組む。 ・身の回りの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用する。 ・GISの作業に意欲的に取り組み、GISで作成した地図から地域の特徴を分析する。	・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につけたか。 ・統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。 ・主題に対して適切な統計地図を作成できたか。 ・GISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解し、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につけたか。 ・地理院地図やひなたGISなどインターネット上のGISの機能を利用し、地理空間情報を活用できたか。 【思考・判断・表現】 ・複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。 ・地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できたか。 ・身近な地図について、目的により表現方法に違いがあることが判断できたか。 ・紙の地形図と電子地図の用途や活用について、地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・統計資料を意欲的に読み取り、それを表現できたか。 ・統計地図の作成に意欲的に取り組むことができたか。 ・身の回りの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用できたか。 ・GISの作業に意欲的に取り組み、GISで作成した地図から地域の特徴を分析しようとしたか。	○	○	○	5

2 学 期	中間考査			○	○	○	1
	地形と生活文化 【知識及び技能】 ・地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴を捉える。 ・地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較しながら考察する。 ・生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組む。 ・地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉える。	・一人 1台 端末 の活 用	【知識・技能】 ・地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴を捉えることができたか。 ・地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。 【思考・判断・表現】 ・世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較しながら考察できたか。 ・生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。 ・地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。	○	○	○	5
	気候と生活文化 【知識及び技能】 ・大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解する。 ・各気候の分布の特徴を理解する。 ・雨温図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り、整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察する。 ・気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察する。 ・写真などの資料をもとに、各気候により景観が異なることを捉え、農業や生活への影響を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・雨温図や写真の判読を通じて、世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究する。 ・雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組む。	・一人 1台 端末 の活 用	【知識・技能】 ・大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できたか。 ・各気候の分布の特徴を理解できたか。 ・雨温図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り、整理できたか。 【思考・判断・表現】 ・世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察できたか。 ・気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できたか。 ・写真などの資料をもとに、各気候により景観が異なることを捉え、農業や生活への影響を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・雨温図や写真の判読を通じて、世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できたか。 ・雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。	○	○	○	6
	期末考査			○	○	○	1
2 学 期	産業と生活文化、宗教・言語と生活文化 【知識及び技能】 ・世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観する。 ・主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察する。 ・世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究する。 ・産業が発達し続けていることを、時事的話題とともに意欲的に捉える。	・一人 1台 端末 の活 用	【知識・技能】 ・世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。 ・主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。 【思考・判断・表現】 ・自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。 ・世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できたか。 ・産業が発達し続けていることを、時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。	○	○	○	8
	世界各地の生活文化(アジア・アフリカ) 【知識及び技能】 ・図版や写真からアジア・アフリカの地域の特徴と変化を捉え、課題を整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アジア・アフリカ地域の人々の生活文化について、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・アジア・アフリカ地域の農業、工業の特徴を捉えるとともに、気候など他の要素との関連に関心をもって意欲的に取り組む。 ・アジア・アフリカ地域の言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域的課題について意欲的に探究する。	・一人 1台 端末 の活 用	【知識・技能】 ・図版や写真からアジア・アフリカの地域の特徴と変化を捉え、課題を整理できたか。 【思考・判断・表現】 ・アジア・アフリカ地域の人々の生活文化について、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アジア・アフリカ地域の農業、工業の特徴を捉えるとともに、気候など他の要素との関連に関心をもって意欲的に取り組むことができたか。 ・アジア・アフリカ地域の言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域的課題について意欲的に探究できたか。	○	○	○	6
	中間考査			○	○	○	1
	世界各地の生活文化(ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア) 【知識及び技能】 ・図版や写真からヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニアの地域の特徴と変化を捉え、課題を整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア地域の人々の生活文化について、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア地域の農業、工業の特徴を捉えるとともに、気候など他の要素との関連に関心をもって意欲的に取り組む。	・一人 1台 端末 の活 用	【知識・技能】 ・図版や写真からヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニアの地域の特徴と変化を捉え、課題を整理できたか。 【思考・判断・表現】 ・ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア地域の人々の生活文化について、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア地域の農業、工業の特徴を捉えるとともに、気候など他の要素との関連に関心をもって意欲的に取り組むことができたか。 ・ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア地域の言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域的課題について	○	○	○	10

3 学 期	・ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア地域の言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域の課題について意欲的に探究する。		意欲的に探究できたか。				
	期末考査			○	○	○	1
	地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球的課題の原因を理解するとともに、地球市民の一人として、それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し、どのような行動ができるかを追究する。	・一人 1 台 端 末 の 活 用	【知識・技能】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解することができたか。 【思考・判断・表現】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球的課題の原因を理解するとともに、地球市民の一人として、それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し、どのような行動ができるかを追究できたか。	○	○	○	10
3 学 期	生活圏の諸課題 【知識及び技能】 ・日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解する。 ・日本列島における自然災害について具体的事例を通じて、災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組み方や課題を理解する。 ・地形図やハザードマップを活用し、防災と避難行動について考察する技能を身につける。 ・地域的な課題についての調査法を身につける。 ・統計資料を収集し、それを主題図に表現する方法を身につける。 ・調査結果を主題図などにまとめ、他地域と比較して考察する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察する。 ・日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り、それをふまえて自然災害時の対策を考察する。 ・自らの生活圏の防災について、資料から適切に判断し、課題と避難行動を協議する。 ・調査で得られた結果を、主題図や表などに整理する。 ・得られた資料を根拠にして、地域の特徴や課題を見つけ、まちづくりのプランを構想する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し、過去の災害事例を調べる。 ・GISなどを活用し、自然災害への対策を意欲的に探究する。 ・災害発生時の自助・共助・公助をふまえ、身近な地域で発生が予想される場面を想定して、意欲的に対策を検討する。 ・身近な地域に様々な課題があることを見出し、意欲的に主題図やグラフなどを資料を作成する。 ・主題図などの調査結果を根拠にして、意欲的に地域の課題解決に向けたまちづくりのプランを検討し、発表する。	・一人 1 台 端 末 の 活 用	【知識・技能】 ・日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できたか。 ・日本列島における自然災害について具体的事例を通じて、災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組み方や課題を理解できたか。 ・地形図やハザードマップを活用し、防災と避難行動について考察する技能を身につけることができたか。 ・地域的な課題についての調査法を身につけることができたか。 ・統計資料を収集し、それを主題図に表現する方法が身についたか。 ・調査結果を主題図などにまとめ、他地域と比較して考察する技能を身につけることができたか。 【思考・判断・表現】 ・日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できたか。 ・日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り、それをふまえて自然災害時の対策を考察できたか。 ・自らの生活圏の防災について、資料から適切に判断し、課題と避難行動を協議できたか。 ・調査で得られた結果を、主題図や表などに整理できたか。 ・得られた資料を根拠にして、地域の特徴や課題を見つけ、まちづくりのプランを構想できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し、過去の災害事例を調べることができたか。 ・GISなどを活用し、自然災害への対策を意欲的に探究できたか。 ・災害発生時の自助・共助・公助をふまえ、身近な地域で発生が予想される場面を想定して、意欲的に対策を検討できたか。 ・身近な地域に様々な課題があることを見出し、意欲的に主題図やグラフなどを資料を作成できたか。 ・主題図などの調査結果を根拠にして、意欲的に地域の課題解決に向けたまちづくりのプランを検討し、発表できたか。	○	○	○	9
	学年末考査			○	○	○	1

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： 芥川、蛭牟田

使用教科書： （数研出版数学Ⅰ）

教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】各単元の内容を理解し、事象を数学化し、表現、処理ができるようになる。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学的な考え方、判断力を向上し、考えを表現できるようになる。
- 【学びに向かう力、人間性等】積極的に問題に取り組むことができ、与えられた課題に真剣に取り組むことができる。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の内容について、基本的な事柄を十分理解したうえで、これらを用いた問題を解くことができるようになる。	数学的な思考力、解法発見力をつけ、自らの考え解法を記述などで的確に表現することができるようになる。	数学に対して積極的に学ぶ姿勢をもち、与えられた課題などに真剣に取り組む姿勢を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	数と式 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	式を目的に応じて整理したり、適切に変形することができるようになる。実数を理解し、根号が入った値を含む計算ができるようになる。一次不等式を用いて問題を解くことができるようになる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	14
	集合と命題 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	集合に関する基本的な概念を理解する。命題についての用語などを理解し、問題を解くことができるようになる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	2次関数 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	2次関数のグラフについて理解し、それと2次方程式、2次不等式との関連性を用いて問題を解くことができるようになる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2次関数 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	2次関数のグラフについて理解し、それと2次方程式、2次不等式との関連性を用いて問題を解くことができるようになる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	5
	データの分析 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	データに関しての数学的な値、処理法を理解し、これらを用いた問題を解くことができるようになる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	図形と計量 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	三角比に関する基本的な概念を理解し、相互関係、正弦定理、余弦定理などを用いて図形を考察することができるようになる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期							

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅱ 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：芥川、蛭牟田

使用教科書：（ 数研出版数学Ⅱ ）

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】各単元の内容を理解し、事象を数学化し、表現、処理ができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な考え方、判断力を向上し、考えを表現できるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に問題に取り組むことができ、与えられた課題に真剣に取り組むことができる。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の内容について、基本的な事柄を十分理解したうえで、これらを用いた問題を解くことができるようになる。	数学的な思考力、解法発見力をつけ、自らの考え解法を記述などで的確に表現することができるようになる。	数学に対して積極的に学ぶ姿勢をもち、与えられた課題などに真剣に取り組む姿勢を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期							
2 学 期							
3 学 期	式と証明 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	多項式などについての問題、等式、不等式の証明方法を理解して問題に取り組むことができる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	14
	複素数と方程式 【知識および技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況、新しい概念取得への意欲など	複素数と2次方程式の解 複素数とその計算 2次方程式の解 解の種類の判別 解と係数の関係 2次式の因数分解への応用 2次方程式の決定 高次方程式 剰余の定理 因数定理 高次方程式の解法 3次方程式の解と係数の関係	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 0 科目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： 芥川、蛭牟田、高橋、藤沼、竹村

使用教科書：（ 数学A（数研出版） ）

教科 0 の目標：

【知識及び技能】場合の数と確率、数学と人間の活動、図形の性質について、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

【思考力、判断力、表現力等】場合の数と確率、数学と人間の活動、図形の性質について、事象を数学的に考察する能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】場合の数と確率、数学と人間の活動、図形の性質において、基本的な概念をもとに主体的に問題を解き、事象と関連させながら考察しようとしている。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	基本的な概念をもとに主体的に問題を解き、事象と関連させながら考察しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	場合の数 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	・集合の要素の個数	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	3
	場合の数 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	・和の法則と積の法則 ・順列と組合せ	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	6
	場合の数・確率 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	・組合せ ・確率 ・積事象、和事象	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	7
	確率 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	・独立試行 ・反復試行	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	7
2 学期	確率 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	・条件つき確率 ・確率の乗法定理	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	5
	数学と人間の活動 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	・約数と倍数 ・約数の個数 ・素因数分解 ・最大公約数と最小公倍数 ・整数の割り算、余りによる分類 ・ユークリッド互除法 ・記数法、座標	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	20
3 学期	図形の性質 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	・内分と外分 ・線分の比 ・五心 ・メネラウスの定理とチェバの定理 ・円に関する性質 ・作図 ・空間図形	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	22

高等学校 令和6年度(1学年用) 教科

理科 科目 生物基礎

教科： 理科 科目： 生物基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：(4 5 6 7 組：冬木)(1 2 3 8 組：大西)

使用教科書：(生物基礎(数研出版))

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】生物や生物の構造に関する基本的な知識や概念、原理・法則を理解させる。

【思考力、判断力、表現力等】生物学的に考え、判断する能力と態度を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】身の回りの自然や生物に対する意欲関心や探求心を高めさせる。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
講義等を通して生物や生物の構造に関する基本的な知識や概念、原理・法則を理解させる。	グループ学習、発表等を通して、生物学的に考え、判断する能力と態度を育成する。	観察、実験等を通して、身の回りの自然や生物に対する意欲関心や探求心を高めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識・技能】 生物が細胞を基本としてなりたっていることを理解させる。 【思考・判断・表現】 生物は共通の祖先から進化したことを理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 顕微鏡やマイクロメーターの使用方法をマスターさせ、細胞観察実験について探求させる。	1 生物と遺伝子 ①生物の特徴 生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝	【知識・技能】 生物が細胞を基本としてなりたっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 生物は共通の祖先から進化したことを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 顕微鏡やマイクロメーターの使用方法をマスターさせ、細胞観察実験について探求している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	【知識・技能】 光合成と呼吸のしくみを理解させる。 【思考・判断・表現】 DNAが遺伝情報を担っていることをあらためて確認させ、その構造とはたらきについて理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 細胞分裂の際に、どのように遺伝情報が分配されるのか探求させる。	1 生物と遺伝子 ①生物の特徴 光合成と呼吸 ②遺伝子とそのはたらき 遺伝情報とDNA 遺伝情報の発現 遺伝情報の分配	【知識・技能】 光合成と呼吸のしくみを理解している。 【思考・判断・表現】 DNAが遺伝情報を担っていることをあらためて確認させ、その構造とはたらきについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 細胞分裂の際に、どのように遺伝情報が分配されるのか探求している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	【知識・技能】 生命の体内環境の保持(恒常性)について理解させる。 【思考・判断・表現】 ホルモンや自律神経が共同で恒常性にはたらくことを理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体液や免疫など、さまざまな角度から考え、すべてからだの調節に関係していることを探究させる。	2 生物の体内環境の維持 ③生物の体内環境 体液という体内環境 腎臓と肝臓 神経とホルモンによる調節 免疫	【知識・技能】 生命の体内環境の保持(恒常性)について理解している。 【思考・判断・表現】 ホルモンや自律神経が共同で恒常性にはたらくことを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 体液や免疫など、さまざまな角度から考え、すべてからだの調節に関係していることを探究している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	【知識・技能】 植生の成り立ちを知る上で重要な植物群落の遷移の十分な理解させる。 【思考・判断・表現】 1 学年の地理で学習した植生について生物学からの角度から説明させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 パイオームについて自分の興味のあるパイオームについて意欲的に調べ、探究させる。	3 生物の多様性と生態系 ④植生の多様性の分布 さまざまな植生 植生の遷移 ⑤気候とパイオーム	【知識・技能】 植生の成り立ちを知る上で重要な植物群落の遷移の十分な理解している。 【思考・判断・表現】 1 学年の地理で学習した植生について生物学からの角度から説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 パイオームについて自分の興味のあるパイオームについて意欲的に調べ、探究している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【知識・技能】 生態系のしくみを十分理解させる。 【思考・判断・表現】 生態系内でのエネルギーの流れやバランスについて理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 われわれ人間活動と生態系についての関係について探求させる。	3 生物の多様性と生態系 ⑤生態系とその保全 生態系 物質循環とエネルギーの流れ 生態系バランス 人間関係と生態系の保全	【知識・技能】 生態系のしくみを十分理解している。 【思考・判断・表現】 生態系内でのエネルギーの流れやバランスについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 われわれ人間活動と生態系についての関係について探求している。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教 科： 理科 科 目： 化学基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 組：黒澤和敏）（ 組：郡司幹夫）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 化学基礎 academia 実教出版 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する技能を身に付け、

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 1節 物質の探究 2節 物質の構成粒子 【知識及び技能】 ・物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探究させる。 ・物質の状態変化の現象について、粒子の運動と関連付けて探究させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・原子の構造を理解し、電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることを推論させる。 ・物質の状態変化は、構成粒子の分子運動に関係し、それが温度や圧力によるものであることを論理的、総合的に判断できる。 ・周期表から元素の大まかな性質が判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験において、測定方法の技能を習得させるとともに、測定結果から量的関係を的確に表現させる。 ・物質の状態に関して観察、実験を行い、それらの測定結果から物質の状態について考察させる。	・指導事項 1節 物質の探究 2節 物質の構成粒子 物質が原子、イオン、分子から構成されていることを理解する。 構成粒子の違いと物質の種類の違いを理解する。 ・物質の構成粒子や量的関係に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・分子運動と物質の三態との関係から、代表的な物質について、常温、常圧での状態を理解し、知識として身につけている。	【知識・技能】 ・物質に関心をもち、物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探究しようとしている。 ・物質の状態変化の現象について、粒子の運動と関連付けて探究しようとする。 【思考・判断・表現】 ・原子は原子核と電子からなっていて、電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることを推論できる。 ・物質の状態変化は、構成粒子の分子運動に関係し、それが温度や圧力によるものであることを論理的、総合的に判断できる。 ・周期表から元素の大まかな性質が判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実験において、質量や体積などの定量的な測定方法の技能が習得できているとともに、実験の測定結果から量的関係を的確に表現できる。 ・物質の状態に関して観察、実験を行い、それらに関する技能を習得し、それらの測定結果から物質の状態について考察できる。	○	○	○	5
	2章 1節 イオン結合 2節 共有結合と分子間力 【知識及び技能】 ・物質の構造は、結合の仕方の違いに関わりがあることを、意欲的に探究させる。 ・それぞれの結合とその結晶について、正確に区別し探究させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の性質は、結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論させる。 ・それぞれの物質について、結合によって区別させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・化学結合に関する観察、実験の操作や記録などの技能を習得させ、その結果より結論を表現させる。 ・それぞれの物質の製法について、その性質の違いによって操作方法を区別させる。	・指導事項 1節 イオン結合 2節 共有結合と分子間力 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオン結合およびイオン結合からなる物質の性質を理解する。 共有結合を電子配置と関連付けて理解し、分子からなる物質の性質を理解する。さらに、分子間の結合によって物質ができていることを理解する。 ・物質の構成粒子の違いによる結合・結晶の差異を、代表的な物質から具体的に理解し、知識を身につけている。 ・物質は結合の違いによって区別できることを理解している。 ・物質の性質と、その結合に関連が	【知識・技能】 ・物質の構造は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを、意欲的に探究しようとする。 ・それぞれの結合とその結晶について、正確に区別し探究しようとする。 【思考・判断・表現】 ・物質の性質は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できる。 ・それぞれの物質について、結合によって区別することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学結合に関する観察、実験の操作や記録などの技能が習得でき、その結果より結論を表現できる。 ・それぞれの物質の製法について、その性質の違いによって操作方法を区別することができる。	○	○	○	5
	定期考查			○	○		1
	2章 3節 金属結合 4節 化学結合と物質 【知識及び技能】 ・物質の構造は、結合の仕方の違いに関わりがあることを、意欲的に探究させる。 ・それぞれの結合とその結晶について、正確に区別し探究させる。 ・身近な物質について、結合によって区別し、性質や利用例を日常の事象と関連付けて探究させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の性質は、結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論させる。 ・それぞれの物質について、結合によって区別させる。 ・それぞれの物質の性質を結合と関連付けて考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・化学結合に関する観察、実験の操作や記録などの技能を習得させ、その結果より結論を表現させる。 ・それぞれの物質の製法について、その性質の違いによって操作方法を区別させる。	・指導事項 3節 金属結合 4節 化学結合と物質 金属原子間の結合及び金属からなる物質の性質を理解する。 1～3節において学んだ物質の結晶を、結合の違いによって区別し、性質を整理する。 具体的な物質について、それぞれ性質や利用例を理解する。 ・物質の構成粒子の違いによる結合・結晶の差異を、代表的な物質から具体的に理解し、知識を身につけている。 ・物質は結合の違いによって区別できることを理解している。 ・物質の性質と、その結合に関連があることを理解している。	【知識・技能】 ・物質の構造は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを、意欲的に探究しようとする。 ・それぞれの結合とその結晶について、正確に区別し探究しようとする。 ・身近な物質について、結合によって区別し、性質や利用例を日常の事象と関連付けて探究しようとする。 【思考・判断・表現】 ・物質の性質は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できる。 ・それぞれの物質について、結合によって区別することができる。 ・それぞれの物質の性質を結合と関連付けて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学結合に関する観察、実験の操作や記録などの技能が習得でき、その結果より結論を表現できる。 ・それぞれの物質の製法について、その性質の違いによって操作方法を区別することができる。	○	○	○	6

2 学 期	3章 1節 物質質量と化学反応式 【知識及び技能】 ・代表的な物質の原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項や濃度との関係を関連付けて考察させるとともに、意欲的にそれらを探究させる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・物質量の定義を理解させ、物質量を用いた基本的な計算をさせ、化学変化には一定の量的関係があることを考察させる。また、物質量と溶液の濃度の関係を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・表や図のデータなどから物質の性質を分析できる能力を身につけ、観察、実験の過程や結果および数的な処理から、自ら考えを導き出したり、実験報告書を作成したり、発表したりさせる。	・指導事項 1節 物質質量と化学反応式 原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項を学ぶ。 物質量と溶液の濃度の関係を学ぶ。 ・化学式を使用できるとともに、原子量、分子量、式量と物質量の知識を身につけている。また、物質量の概念を用いて、溶液の濃度との関係を把握する方法を理解し、知識を身につけている。	【知識・技能】 ・代表的な物質の原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項や濃度との関係を関連付けて考察しようとする。また、意欲的にそれらを探究しようとする。 【思考・判断・表現】 ・原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。また、物質量と溶液の濃度の関係を考察できる。 ・考察して導き出した考えを的確に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・表や図のデータなどから物質の性質を分析できる能力を身につけ、観察、実験の過程や結果および数的な処理から、自ら考えを導き出したり、実験報告書を作成したり、発表したりできる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	3章 1節 物質質量と化学反応式 【知識及び技能】 ・代表的な物質の化学変化に注目し、化学変化の量的関係を物質質量と関連付けて考察させるとともに、意欲的にそれらを探究させる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・化学反応式から物質量の定義を理解させ、物質量を用いた基本的な計算をし、化学変化には一定の量的関係があることを考察させる。 ・考察して導き出した考えを的確に表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・表や図のデータなどから物質の性質を分析できる能力を身につけさせ、観察、実験の過程や結果および数的な処理から、自ら考えを導き出したり、実験報告書を作成したり、発表したりさせる。また、化学反応式と量的関係が大きく関わっていることを実験を通して導かせる。	・指導事項 1節 物質質量と化学反応式 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 化学の進歩の歴史と基本的な法則の発見の経緯について理解する。 ・化学式を使用できるとともに、原子量、分子量、式量と物質量の知識を身につけている。また、物質量の概念を用いて、化学変化の量的関係を把握する方法を理解し、知識を身につけている。	【知識・技能】 ・代表的な物質の化学変化に注目し、化学変化の量的関係を物質質量と関連付けて考察しようとする。また、意欲的にそれらを探究しようとする。 【思考・判断・表現】 ・化学反応式から物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。 ・考察して導き出した考えを的確に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・表や図のデータなどから物質の性質を分析できる能力を身につけ、観察、実験の過程や結果および数的な処理から、自ら考えを導き出したり、実験報告書を作成したり、発表したりできる。また、化学反応式と量的関係が大きく関わっていることを実験を通して導くことができる。	○	○	○	6
2 学 期	2節 酸と塩基 【知識及び技能】 ・酸、塩基に関心をもち、それらを日常生活に関連付けて意欲的に探究させる。 ・身近な物質のpHを測定して考察するなど、身近な現象と酸・塩基反応を関連付けて意欲的に探究させる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・酸・塩基の観察、実験をもとに共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を考察させる。 ・酸・塩基の強弱とpHの観察、実験などを通して、科学的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・酸塩基指示薬やpHメータなどが扱え、身近な物質のpH測定方法を習得させる。	・指導事項 2節 酸と塩基 水溶液の酸性・塩基性の強弱と水素イオン濃度との関係およびpHについて理解する。 酸と塩基の性質と、中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。 ・酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を捉えることができる。 ・pHの指標の便利さと実用性を理解している。	【知識・技能】 ・酸、塩基に関心をもち、それらを日常生活に関連付けて意欲的に探究しようとする。 ・身近な物質のpHを測定して考察するなど、身近な現象と酸・塩基反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基の観察、実験をもとに共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を考察できる。 ・酸・塩基の強弱とpHの観察、実験などを通して、科学的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸塩基指示薬やpHメータなどが扱え、身近な物質のpH測定方法を習得している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	2節 酸と塩基 【知識及び技能】 ・酸、塩基や中和反応に関心をもち、日常生活に関連付けて意欲的に探究させる。 ・身近な物質のpHを測定して考察するなど、身近な現象と酸・塩基反応を関連付けて延長上には中和反応にも関連しているということを意欲的に探究させる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・酸・塩基の観察、実験をもとに共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて中和反応を考察させる。 ・酸・塩基の強弱とpHの観察、実験などを通して、科学的に考察させる。また、酸・塩基の中和反応についても考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ここでの特別な実験器具の取り扱いができると同時に、酸・塩基の量的関係から濃度未知の酸や塩基の濃度を求める技能を修得させる。 ・酸塩基指示薬やpHメータなどが扱え、身近な物質のpH測定方法を習得させる。	・指導事項 2節 酸と塩基 中和滴定と滴定曲線により、中和反応を理解する。 ・酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を捉えることができ、さらに中和滴定の量的関係を理解している。 ・pHの指標の便利さと実用性を理解している。	【知識・技能】 ・物質の構造は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを、意欲的に探究しようとする。 ・それぞれの結合とその結晶について、正確に区別し探究しようとする。 ・身近な物質について、結合によって区別し、性質や利用例を日常の事象と関連付けて探究しようとする。 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基の観察、実験をもとに共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応および中和反応を考察できる。 ・酸・塩基の強弱とpHの観察、実験などを通して、科学的に考察できる。また、酸・塩基の中和反応についても考察できる。 ・考察して導き出した考えを的確に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ここでの特別な実験器具の取り扱いができると同時に、酸・塩基の量的関係から濃度未知の酸や塩基の濃度を求める技能を修得している。 ・酸塩基指示薬やpHメータなどが扱え、身近な物質のpH測定方法を習得している。	○	○	○	6

	3節 酸化還元反応 【知識及び技能】 ・燃焼，金属の溶解の利用に興味をもち，それらの共通性を意欲的に探究させる。 ・身近な現象と酸化還元反応を関連付けて意欲的に探究させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な観察，実験を通し，酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し，共通性を見出し，酸化還元反応として論理的に考察させる。 ・身近にあるものから酸化還元反応との関連性を見出し，論理的に考察し，科学的に判断させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・代表的な酸化剤，還元剤の観察，実験の報告書を作成する中で，規則性を見出し，自らの考えで表現させる。 ・属のイオン化傾向の実験を行い，その説明を科学的に表現させる。	・指導事項 3節 酸化還元反応 酸化・還元反応の定義を理解し，酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。 ・電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を理解し，知識を身につけている。 ・金属のイオン化傾向とそれによる反応性の違いを理解し，実用電池など身近に酸化還元反応が利用されていることを知っている。	【知識・技能】 ・燃焼，金属の溶解の利用に興味をもち，それらの共通性を意欲的に探究する。 ・身近な現象と酸化還元反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。 【思考・判断・表現】 ・様々な観察，実験を通し，酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し，共通性を見出し，酸化還元反応として論理的に考察できる。 ・身近にあるものから酸化還元反応との関連性を見出し，論理的に考察し，科学的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・代表的な酸化剤，還元剤の観察，実験の報告書を作成する中で，電子の授受としての規則性を見出し，自らの考えで表現することができる。 ・酸化還元反応の例として，金属のイオン化傾向の実験を行い，その説明を科学的に表現できる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	3節 酸化還元反応 【知識及び技能】 ・実用電池の利用に興味をもたせ，それらの共通性を意欲的に探究させる。 ・身近な現象と酸化還元反応を関連付けて意欲的に探究させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な観察，実験を通し，酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解させ，共通性を見出し，酸化還元反応として論理的に考察させる。 ・実用電池と酸化還元反応との関連性を見出し，論理的に考察させ，科学的に判断させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・代表的な酸化剤，還元剤の観察，実験の報告書を作成する中で，電子の授受としての規則性を見出し，自らの考えで表現させる。 ・酸化還元反応の例として，電池の実験を行い，その説明を科学的に表現させる。	・指導事項 3節 酸化還元反応 酸化剤と還元剤の反応と実用電池の形成の関係を理解する。 ・電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を理解し，知識を身につけている。 ・金属のイオン化傾向とそれによる反応性の違いを理解し，実用電池など身近に酸化還元反応が利用されていることを知っている。	【知識・技能】 ・実用電池の利用に興味をもち，それらの共通性を意欲的に探究する。 ・身近な現象と酸化還元反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。 【思考・判断・表現】 ・様々な観察，実験を通し，酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し，共通性を見出し，酸化還元反応として論理的に考察できる。 ・実用電池と酸化還元反応との関連性を見出し，論理的に考察し，科学的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・代表的な酸化剤，還元剤の観察，実験の報告書を作成する中で，電子の授受としての規則性を見出し，自らの考えで表現することができる。 ・酸化還元反応の例として，電池の実験を行い，その説明を科学的に表現できる。	○	○	○	10
3学期	3節 酸化還元反応 【知識及び技能】 ・燃焼，金属の溶解，実用電池の利用に興味をもたせ，それらの共通性を意欲的に探究させる。 ・身近な現象や金属の製錬と酸化還元反応を関連付けて意欲的に探究させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な観察，実験を通し，酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解させ，酸化還元反応として論理的に考察させる。 ・金属の製錬と酸化還元反応との関連性を見出し，論理的に考察し，科学的に判断させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・代表的な酸化剤，還元剤の観察，実験の報告書を作成する中で，電子の授受としての規則性を見出させ，自らの考えで表現させる。 ・酸化還元反応の例として，電気分解の実験を行い，その説明を科学的に表現させる。	・指導事項 3節 酸化還元反応 酸化還元反応と日常生活や社会生活との関わりについて理解する。 ・電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を理解し，知識を身につけている。 ・金属のイオン化傾向とそれによる反応性の違いを理解し，実用電池など身近に酸化還元反応が利用されていることを知っている。	【知識・技能】 ・燃焼，金属の溶解，実用電池の利用に興味をもち，それらの共通性を意欲的に探究する。 ・身近な現象や金属の製錬と酸化還元反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。 【思考・判断・表現】 ・様々な観察，実験を通し，酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し，共通性を見出し，酸化還元反応として論理的に考察できる。 ・金属の製錬と酸化還元反応との関連性を見出し，論理的に考察し，科学的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・代表的な酸化剤，還元剤の観察，実験の報告書を作成する中で，電子の授受としての規則性を見出し，自らの考えで表現することができる。 ・酸化還元反応の例として，電気分解の実験を行い，その説明を科学的に表現できる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： 三井・宮原・牛窪・柿崎・土屋・中川・佐藤・宗村

使用教科書：（ 現代 高等 保健体育 （大修館書店） ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【武道】柔道・剣道 相手の動きに応じて基本動作や基本となる技を身に付け、さらに技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や、体力の高め方などを理解し、技を用いて攻防を展開できるようにする。	・柔道 ・剣道	【知識・技能】 質疑 技能テスト 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	6
	【ダンス】 「イメージを捉えたり、深めた表現や踊りを通じた交流や発表をする」ことを踏まえて、感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、「それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をする」ことなどができるようにする。	・ダンス	【知識・技能】 質疑 発表 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	6
	【球技】 ネット型：インディアカ ゴール型：アルティメット 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームが展開できるようにし、チームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、健康や安全を確保することができるようにする。	・インディアカ ・アルティメット	【知識・技能】 質疑 技能テスト 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	6
	定期考査						
	【体育理論】 スポーツの歴史的発展と多様な変化を理解する。 現代のスポーツの意義と価値 スポーツの経済的効果 スポーツの高潔さ スポーツが環境や社会にもたらす影響	・スポーツの発祥と起源 ・文化としてのスポーツ （期末考査後の臨時時間割） ・オリパラの意義 ・スポーツの経済的効果 ・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツと環境 ＊5月1日オンライン授業デーで一括実施	【知識・技能】 質疑 発表 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	6
	【水泳】 泳法を身に付け、効率的に泳ぐことなどを学習し、記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、「自己に適した泳法を身に付け、その効率を高めて泳ぐ」ことができるようにする。	・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ	【知識・技能】 質疑 測定 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	8
	【球技】 ネット型：インディアカ ゴール型：アルティメット 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームが展開できるようにし、チームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、健康や安全を確保することができるようにする。	・インディアカ ・アルティメット	【知識・技能】 質疑 技能テスト 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	4

2 学 期	【陸上競技】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身に付けることができるようにし、動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、陸上競技の学習に自主的に取り組み、ルールやマナーを大切にすることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にする。	・ハードル走 ・やり投げ	【知識・技能】 質疑 測定 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	8
	【器械運動】 技ができる楽しさや喜びを味わい、運動観察の方法や体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができるようにする。技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	・マット運動 ・跳び箱	【知識・技能】 質疑 発表 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	8
	定期考査						
3 学 期	【陸上競技】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身に付けることができるようにし、動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、陸上競技の学習に自主的に取り組み、ルールやマナーを大切にすることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にする。	・長距離走	【知識・技能】 質疑 測定 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	9
	【体づくり運動】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の減速などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取組ことができるようにする。	・縄跳び	【知識・技能】 質疑 技能テスト 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	9
	定期考査						

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：三井・宮原・柿崎

使用教科書：（ 現代 高等 保健体育 （大修館書店） ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1単元【現代社会と健康】 健康について 【知識及び技能】 国民の健康課題 【思考力、判断力、表現力等】 疾病等のリスクの軽減 【学びに向かう力、人間性等】 自分の健康と向き合う態度	・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	2
	第1単元【現代社会と健康】 がんについて 【知識及び技能】 生活習慣病の予防と回復 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康の課題を考える 【学びに向かう力、人間性等】 自分の健康と向き合う態度	・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	4
	第1単元【現代社会と健康】 生活習慣について 【知識及び技能】 疾病リスクを軽減する 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の健康課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 自分の健康と向き合う態度	・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	第1単元【現代社会と健康】 喫煙・飲酒・薬物乱用 【知識及び技能】 健康被害を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 外国と比較し防止対策を考える 【学びに向かう力、人間性等】 自分の健康と向き合う態度	・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	4
	第1単元【現代社会と健康】 精神疾患について 【知識及び技能】 特徴を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ストレスの緩和が重要 【学びに向かう力、人間性等】 自分の健康と向き合う態度	・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 ブレインストーミング、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	3
2 学 期	第1単元【現代社会と健康】 感染症・性感染症について 【知識及び技能】 新たな病原体の出現 【思考力、判断力、表現力等】 新興感染症・再興感染症 【学びに向かう力、人間性等】 自分の健康と向き合う態度	・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 ブレインストーミング、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	3
	第1単元【現代社会と健康】 意思決定と行動選択 【知識及び技能】 ヘルスプロモーションを理解 【思考力、判断力、表現力等】 健康を取り巻く社会環境 【学びに向かう力、人間性等】 自分の健康と向き合う態度	・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

3 学 期	第2単元【安全な社会生活】 交通安全 【知識及び技能】 事故の現状と発生要因 【思考力、判断力、表現力等】 交通事故防止できること 【学びに向かう力、人間性等】 自分の健康と向き合う態度	・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 ロールプレイ、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	3
	第2単元【安全な社会生活】 応急手当 【知識及び技能】 応急手当の基本を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 応急手当とCPRの実践 【学びに向かう力、人間性等】 自分の健康と向き合う態度	・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 ロールプレイ、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等				6
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（1学年用）教科

芸術

科目

音楽Ⅰ

教科：芸術
対象学年組：第1学年 1組～8組 選択者
教科担当者：多久島 一美
使用教科書：（高校生の音楽1 教育芸術社）
教科：芸術

単位数：2 単位

【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】

の目標：芸術を追求し表現できる達成感や共有する喜びを味わい、生涯にわたり愛好する心情を育む。
芸術の特質を理解すると共に、意図に基づいた表現ができるような技能を身に付ける。
芸術の美しさを感じ取り、自己のイメージをもち創造的な表現を工夫する。
生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、より良い芸術を追求する姿勢を持ち続ける。

科目 音楽Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想、音楽の構造、歴史的背景など音楽の多様な特性を理解しながら、創意工夫を生かした音楽表現に必要な技能を身に付ける。	音楽が成り立つ要素を理解しながら、声、楽器の特性をふまえて理想の表現を追求する。知覚、感受したことのかかわりについて考え、どのように表現するかを工夫する。音楽を評価しながら美しさを味わう。	音や音楽、音楽文化と豊かにかかわり、主体的、協力的に表現や鑑賞の学習活動に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	時配 数当
			歌	器	創						
1 学 期	<器楽>リズム・アンサンブル 【知識及び技能】 楽典：音符と拍子の仕組み、楽曲内の基礎リズムを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 正確にリズムアンサンブルを行う。 【学びに向かう力、人間性等】 グループ練習に積極的関り、音楽を追求する。	<器楽>「クラッピング・カルテットNO.4」 楽典：音符名称、長さ、拍子仕組み 楽曲基礎リズムパターン 裏拍の取り方 リズムアンサンブル 拍手の音色 アンサンブル練習方法・グループ練習方法 <鑑賞>パーカッショングループ演奏 打楽器の名称 様々なアンサンブルスタイル		○		○	【知識・技能】 楽典の知識を理解し正確に表現できる 【思考・判断・表現】 どのような練習が効果的か考え実践する 音色やアンサンブル方法を工夫できる 発表会演奏で相互評価ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ練習に積極的関り、協調性を持ち音楽を追求できる	○	○	○	26
	<歌唱> 発声、カノン、校歌歌唱、外国のボビュラー音楽 【知識及び技能】 発声の仕組み、歌詞と音程、音楽的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 姿勢、正しい奏法、正確なリズム・音程、歌詞内容をふまえて演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 発声向上を目指す姿勢、身体動作で歌唱する。	<歌唱> 「カノン」「校歌」「外国POPS」 発声・姿勢 声部アンサンブル 正確な音程・リズム 歌詞と音の合わせ方 音楽的背景・心情表現 <鑑賞>外国POPSグループ歌唱	○			○	【知識・技能】 発声の仕組み、歌詞と音程、音楽的背景を理解できる 【思考・判断・表現】 姿勢、正しい奏法、正確なリズム・音程、歌詞内容をふまえて演奏できる 歌曲の特性を捉えそれを活かした表現ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 発声向上を目指し取り組める 暗譜で表情を付け独唱できる	○	○	○	
2 学 期	<器楽> ギターアンサンブル ポピュラー音楽 ギターの種類、ギターの仕組み、ギター奏法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 姿勢、正しい奏法、正確なリズム・音程で演奏表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 グループ練習に積極的関り音楽を追求する。	<器楽> 「きちきら星」四重奏 ギターの種類 ギターの仕組み・名称 ギター奏法 アンサンブル練習方法・グループ練習方法 正確な音程・リズム 響きのある音の出し方 リズムパターン選択・アレンジ <鑑賞>クラシックギター作品 ・独奏曲・協奏曲		○	○	○	【知識・技能】 ギターの種類、仕組み、奏法を理解し演奏できる 【思考・判断・表現】 姿勢、正しい奏法、正確なリズム・音程で演奏表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ練習に積極的関り音楽を追求できる	○	○	○	30
	<歌唱> 発声、カノン、校歌四重唱、沖縄の音楽、混声四部合唱 【知識及び技能】 発声の仕組み、歌詞と音程の理解、音楽的背景の理解、日本音階の種類 【思考力、判断力、表現力等】 姿勢、正しい奏法、正確なリズム・音程、歌詞内容をふまえた表現 【学びに向かう力、人間性等】 発声向上を目指す姿勢、身体動作	<歌唱> 「カデンツ」「カノン」「校歌四重唱」「沖縄の歌」「混声四部合唱曲」 発声・姿勢 声部アンサンブル・ハーモニーの合わせ方 正確な音程・リズム 歌詞と音の合わせ方 音楽的背景・心情表現 沖縄の音楽の仕組み（日本の音階） <鑑賞>沖縄の音楽	○			○	【知識・技能】 発声の仕組み、歌詞と音程、日本音階、音楽的背景を理解できたか 【思考・判断・表現】 姿勢、正しい奏法、正確なリズム・音程、歌詞内容をふまえて演奏できたか 歌曲の特性を捉えそれを活かした表現ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 発声向上を目指し取り組めたか 四重唱が正確に歌唱できたか	○	○	○	
3 学 期	<器楽> ピアノ連弾 【知識及び技能】 鍵盤楽器の仕組み、ピアノ奏法 【思考力、判断力、表現力等】 姿勢、正しい奏法、正確なリズム・音程 【学びに向かう力、人間性等】 ペア練習への積極的関り、音楽の追求	<器楽> ピアノ連弾 鍵盤楽器の仕組み 大譜表の読み方 音階の仕組み サトナチュラルの約束事 ピアノ奏法 姿勢 正確な指使い 正確なリズム 連弾の合わせ方・表現方法		○	○	○	【知識・技能】 鍵盤楽器の仕組みやピアノ奏法ができる 【思考・判断・表現】 姿勢、正しい奏法、正確なリズムやペアとの音量バランスが調整できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ペア練習に積極的関り、音楽を追求できる	○	○	○	12
	1年間のまとめ 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 1年間の授業で身についた事項をまとめ、後輩へのアドバイスを作成する。	発表会シートやTeamsに1年間の各単元の効果的練習方法や授業に臨む態度についてふり返り文章表現する	○	○	○	○	【知識・技能】 1年間で得た知識を認識できる 【思考・判断・表現】 1年間で得た思考し練習方法、表現方法について理解したことを認識できる 【主体的に学習に取り組む態度】 グループやペアで音楽作品を仕上げる時の積極性や協調性について考えられたか 発声や楽器技術向上に積極的に取り組める	○	○	○	

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅰ 単位数： 2 単 位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組 選択者

教科担当者：（ 組：鹿島） （ 組：鹿島） （ 組：鹿島） （ 組：鹿島） （ 組：鹿島） （ 組：鹿島）

使用教科書：（ 美術Ⅰ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 社会の情報収集をし、自らの知識技術、造形的視点を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 情報収集や技術研鑽から得た自らの意図的な表現を他者に伝えることが出来る。

【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を見つけ、それに向かい努力することが出来る。共有教材、施設を大切に扱うことが出来る。

科目 美術Ⅰ の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	作品鑑賞、美術史学習、実習を通して、様々な手法や技法を知ることにより、自らの視点、思考に沿う技術を身につける。	自らの意図を他者に伝える為に工夫し、表現することが出来る。 友人作品や世界の芸術作品に対し、理解を深めることが出来る。	創造活動の喜びを味わい、意図に応じて工夫して表現する努力をすることが出来る。 主体的協力的に美術と関わり、教材・備品・施設を大切に扱うことが出来る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 彫	デ	映						
1 学 期	アクリル絵の具の基本習得 私らしさの表現 【知識及び技能】 表現したい手法、技法を模索し、作品に取り入れることが出来る 【思考力、判断力、表現力等】 素材を活かし、自分らしい表現をする 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に表現する方法を考案し制作努力を惜しまない	〈表現〉アクリル絵の具の基本習得 ポスター制作 〈鑑賞〉制作意図、表現方法の発表 ・教科書、鉛筆、スケッチボックス、混色ワークセット、筆洗、端末、図鑑、資料、書画カメラ、プロジェクター	○	○		○	【知識及び技能】 自ら選択した表現方法、技術を用いて制作することが出来たか 色の正確さ、丁寧さ 【思考力、判断力、表現力等】 アクリル絵の具の特性を活かし三原色と白黒のみで自己表現をすることが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に試行錯誤し、より良いデザインに転換することが出来る	○	○	○	20
	ハイブリッド版画スタンプ制作 my マークデザイン 版画の技法を理解する。落款について学ぶ。デザインナイフの使い方を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 朱文白文のサインを考案し、他にもオリジナル凸版表現をする 【学びに向かう力、人間性等】 手軽に出来る素材だからこそ積極的に応用表現に発展追求する	〈デザイン・彫刻〉 ・版画の技法 ・ハンコ、落款の知識 ・資料収集、デザイン考案 ・デザイン転写、彫刻 ・教科書、鉛筆、スケッチボックス、ハイブリッド版画スタンプキット 丸、彫刻刀、デザインナイフ、印泥、端末	○	○		○	【知識及び技能】 版画の技法を理解する。落款について学ぶ。デザインナイフの使い方を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 次課題作品に押印する落款であることを念頭にデザインを考案し、制作する 【主体的に学習に取り組む態度】 myマークデザインを多数考案しデザインに合う表現が出来る	○	○	○	10
2 学 期	墨彩画 【知識及び技能】 水墨画技法習得、構図の理解 【思考力、判断力、表現力等】 墨による表現の豊かさを感じ取り、墨の特性を生かした作品制作をする 余韻のある白を意識し画面構成を組み立てる 【学びに向かう力、人間性等】 墨の奥深さ、可能性を積極的に追求し積極的に技法練習を重ねる	〈絵画・鑑賞〉 ・技法練習 ・本番色紙制作、サイン、落款 ・教科書、クロッキー用紙、画仙紙、書道用具、顔彩、筆、端末、書画カメラ、プロジェクター	○	○		○	【知識及び技能】 技法を活かした表現が出来る 【思考力、判断力、表現力等】 墨の濃淡の表現で自分の世界観を表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 墨の奥深さ、可能性を追求し自らの表現に取り込むことが出来る	○	○	○	20
	絵巻物からアニメーションへ 様々な表現への可能性を模索する 【知識及び技能】 様々な技法によるアニメーションを知る 【思考力、判断力、表現力等】 企画、絵コンテまで思案し、プレゼンする 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンを通してどの様な技法を用いるか等、グループで話し合いを展開することが出来る	〈映像メディア表現〉 ・グループで撮影の題材を企画 ・絵コンテ作成 ・撮影機器の確認	○	○	○	○	【知識及び技能】 様々な技法によるアニメーションを知り、日本最古の漫画「鳥獣人物戯画」との相違点を考える、水墨画技法を練習し習得することが出来る 【思考力、判断力、表現力等】 構図中に意図的に視点の動きを想定した絵画表現が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 技法習得の為に積極的に練習に取り組むことが出来る。どんな表現が人の目を引き付けるのかを研究し提案することが出来る	○	○	○	4
3 学 期	アニメーションをつくる 【知識及び技能】 様々な技法によるアニメーションを知り、意図的に機器の特性を効果的に取り入れることが出来る 【思考力、判断力、表現力等】 撮影の仕方を工夫して作品をつくる 【学びに向かう力、人間性等】 グループ制作の中で自他の工夫を取り入れ協力し合うことが出来る	〈映像メディア表現〉 ・撮影機器の確認 ・撮影 ・編集 ・上映	○	○	○	○	【知識及び技能】 様々な技法によるアニメーションを知る 【思考力、判断力、表現力等】 自分たちが企画した表現に合う技法を見つけ出し制作する 【主体的に学習に取り組む態度】 企画から完成までの流れ、提出期限を意識しグループで協力して制作することが出来る	○	○	○	12
	1年間のまとめ 【知識及び技能】 「葛飾北斎」の紹介映像を鑑賞 【思考力、判断力、表現力等】 豊かな人生に活かされるアートの思考とは何かを考える 【学びに向かう力、人間性等】 一年間の授業を振り返り、これからに活かす思考を積極的に模索する	〈鑑賞〉 日本を代表する「葛飾北斎」の紹介映像を鑑賞し、一年間の授業を振り返りながら、豊かな人生に活かされるアートの思考とは何かを考える ・教科書、プリント、「葛飾北斎」DVD、プロジェクター、端末	○	○	○	○	【知識及び技能】 葛飾北斎の妥協をしない人生観を通して一年間学んだ美術表現を再確認することが出来る 【思考力、判断力、表現力等】 目的に沿う表現方法をアートの思考で選択するとは何かを考え発表することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 一年間の授業を振り返り、習得点、反省点を記述することが出来る	○	○	○	4

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

芸術 科目 書道Ⅰ

教科：芸術

科目：書道Ⅰ

単位数：

単位 2

対象学年組：第 1 学年 1 組～

8 組

教科担当者：（1 組～8 組選択者）佐藤典子

使用教科書：（『書道Ⅰ』 光村図書

）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】

芸術に関する各科目の特質を理解すると共に、意図に基づいて表現するための知識や技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造する態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
小中学校国語科書写を基礎として書写能力の向上を図り、鑑賞能力や伝統文化への理解を深める。更に書表現の方法や形式、多様性について理解し、基礎的な技能を身に付けるようにする。	書に親しみ、幅広い学習活動を通して、自ら思考・判断することで、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書美の味わいを感じできるようにする。	書に親しみ、幅広い学習活動を通して、主体的・継続的に学びに向かう姿勢を養い、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢 仮	鑑 賞					
1 学 期	単元…概説と導入 【知識及び技能】 用具用材の使用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な執筆法や用具を選択している 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・中学校書写の復習と確認。 ・用具・用材の使用法。 ・漢字の成立と変遷。 ・古典の学習法と拓本。	○	○	○	【知識及び技能】 ・用具用材の名称と使い方を理解している。 ・筆を正しい執筆法で持っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紙のサイズを判断して紙を折り、適切な大き さで書くことが出来る。 ・文字を整えて書けるように工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・教科書やノートにメモをとるようにしている。	○	○	○	2
	単元…漢字の書・楷書の導入 【知識及び技能】 臨書の意義を理解し、実践できる。 【思考力、判断力、表現力等】 落款を正しく理解し書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 臨書をもとに氏名の筆書きにも挑戦してみる。	・古典の中にみられる基本点画を練習。 ・形臨、背臨、意臨。 ・範書を参考に氏名を書く。	○	○	○	【知識及び技能】 ・基本点画（起筆）を正しく書いている。 ・基本点画（収筆）を正しく書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紙のサイズを判断して紙を折り、適切な大き さで書くことが出来る。 ・形臨、背臨、意臨を区別している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・教科書やノートにメモをとるようにしている。	○	○	○	2
	単元…楷書・『九成宮醴泉銘』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2，4，6 字書き用）。 ・『九成宮醴泉銘』と背勢。 ・欧陽詢と『補江総白猿伝』。	○	○	○	【知識及び技能】 ・基本点画（起筆）を正しく書いている。 ・基本点画（収筆）を正しく書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・背勢を理解し、適切に表現している。 ・分間布白を理解し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。）	○	○	○	4
	単元…楷書・『孔子廟堂碑』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2，4，6 字書き用）。 ・『孔子廟堂碑』と向勢。 ・虞世南と「天下の孤本」（拓本）。	○	○	○	【知識及び技能】 ・基本点画（起筆）を正しく書いている。 ・基本点画（収筆）を正しく書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・向勢を理解し、適切に表現している。 ・文字の左右の大きさの違いや粗密を理解し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。）	○	○	○	4
	単元…楷書・『雁塔聖教序』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2，4，6 字書き用）。 ・『雁塔聖教序』と俯仰法。 ・褚遂良と玄奘三蔵法師。	○	○	○	【知識及び技能】 ・俯仰法の起筆を書き分けられている。 ・抑揚のある軽快な筆使いができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・藏鋒と露鋒が区別できる。 ・余白の美を表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実技のための準備をして授業に臨んでいる。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。）	○	○	○	2

	単元…楷書・『顔氏家廟碑』『開寺心経』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	- 基本点画の確認と復習。 - 半紙の折り方など（2，4，6字書き用）。 『顔氏家廟碑』の顔法と明朝体。 - 顔真卿と安史の乱。 - 明の大船団派遣と世界四大発明。 - マルコポーロの「万安橋記」	○	○	【知識及び技能】 蚕頭燕美の「はね」を正しく書ける。 【思考力、判断力、表現力等】 横画を細く縦画が太い力強い表現をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 蚕頭燕尾の「右払い」を正しく書ける。 【思考力、判断力、表現力等】 横画を細く縦画が太い力強い表現をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 蚕頭燕尾の「右払い」を正しく書ける。 【思考力、判断力、表現力等】 横画を細く縦画が太い力強い表現をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 蚕頭燕尾の「右払い」を正しく書ける。	○	○	○	4
	単元…文化祭作品の創作活動。 【知識及び技能】 これまで学んだ臨書作品をもとに創作作品を完成させることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 古典に立脚した作品でありながら、自身の個性を表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 創作作品完成のための草稿を準備し、より個性を活かした作品を完成させようとしている。	- これまでに習得した臨書の復習。 - 半紙以外の寸法の紙を用いた作品制作。 - 細字などを含めた多様な表現。 - 常用漢字、旧字体、書写体、異体字などの適切な使い分け。 - 後のまめとして定期テストを行う。	○	○	【知識及び技能】 古典臨書によって培った表現を実践的に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 創作をする上での文学的知識を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 大筆と小筆の正しい使い方、洗い方、保存法を実践している。	○	○	○	4
2 学 期	単元…漢字の書、行書への導入 【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。	- 行書の基本点画練習。 - 半紙2文字書きによる古典臨書。 - 範書を参考に行書の氏名練習。	○	○	【知識及び技能】 行書の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 点画を連続させて書いたり、曲線的に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 文字の意味を理解して書こうとしている。	○	○	○	2
	単元…行書・蘭亭序 【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書くことで全臨する。	- 行書の基本点画練習。 『蘭亭序』の臨書。 - 半紙6文字書きでの臨書。 - 補助教材の使用（拡大手本蘭亭序）	○	○	【知識及び技能】 行書で半紙に6文字書きができる。 【思考力、判断力、表現力等】 点画を連続させて書いたり、曲線的に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 文字の意味を理解して書こうとしている。	○	○	○	8
	単元…篆刻 【知識及び技能】 正しい篆刻の意義を学び自身の名前を刻することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 篆刻の特徴を理解し自身の名前を工夫して印面に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 篆刻のための用具用材を準備し、適切な手順と正確性を保ってほろうとしている。	- 篆書の古典を鑑賞し姓名印を刻る。 - 篆書用具の適切な使用法とその効果を学び理解出来る。 - 鑑賞補助のため、一人一台の端末を活用し、手順を動画で確認する。	○	○	【知識及び技能】 筆圧の変化で線に抑揚を付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 向勢を理解して表現をできる。 【学びに向かう力、人間性等】 篆刻刀の角度や持ち方により、自身の理想とする刻線を表現できる。	○	○	○	8
	単元…行書・風信帖 【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。	- 行書の基本点画練習。 - 半紙4字書きでの形臨。 - 三筆と三蹟について。 - まめとして生活の書および定期テストを行う。	○	○	【知識及び技能】 印面の布字および刻字の用刀法が正しくできている。 【思考力、判断力、表現力等】 篆刻刀の角度や持ち方により、自身の理想とする刻線を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習プリントの記入状況など初めての単元に対し、真摯に取り組んでいる。	○	○	○	8

	単元…仮名の書・古典かなへの導入。 【知識及び技能】 仮名の用具用材を理解し、基本的な仮名の線を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 墨の濃度、紙の種類などを工夫し、様々な仮名の表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 古典かなを通して現代平仮名や短歌に等にも興味をもち、表現を工夫しようとする。	・仮名の基本線練習。 ・料紙の紹介、作成。 ・磨墨体験。 ・用具清掃。			○	【知識及び技能】 仮名用の用具の使い方を理解している。 ・仮名の基本点画を正しく書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 紙に対して適切なサイズで書くことができる。 ・適切な墨の濃度に加減して書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仮名用の小筆を正しく扱い、片付けている。 ・仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。	○	○	○	2
	単元…仮名の書・平仮名 【知識及び技能】 仮名の用具用材を理解し、基本的な仮名の線を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 平仮名の結体を考え、判別し適切な表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 古典かなを通して現代平仮名や短歌に等にも興味をもち、表現を工夫しようとする。	・紙の折り方(48マス) ・小筆による細字練習。			○	【知識及び技能】 仮名の基本点画を正しく書くことができる。 ・平仮名の外形特徴を理解して書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 紙に対して適切なサイズで書くことができる。 ・元となった漢字からより適切な結びを使い分けしている。 【学びに向かう力、人間性等】 小筆を正しく扱い、片付けている。 ・仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。	○	○	○	2
	単元…仮名の書・変体仮名 【知識及び技能】 変体仮名の外形特徴を理解して書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 変体仮名の外形特徴を理解して書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 変体仮名の外形特徴を理解して書いている。	・紙の折り方(48マス) ・小筆による細字練習。 ・教科書の用例より選択して各自得意なものを書く。			○	【知識及び技能】 ・仮名の基本点画を正しく書くことができる。 ・変体仮名の外形特徴を理解して書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紙に対して適切なサイズで書くことができる。 ・基本的な変体仮名を判読することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仮名用の小筆を正しく扱い、片付けている。 ・仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。	○	○	○	2
3 学 期	単元…仮名の書・連綿 【知識及び技能】 4種類の連綿を理解し、実際に連綿を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 前後の文字によって4種類の連綿を使い分けて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 文節や単語を意識しながら効果的に連綿を表現しようとしている。	・連綿の形式を4種類に分類し、提示された課題を連綿でかく。 ・2文字の連綿を見て、4種のうちの連綿に属するかを判断する。 ・6文字以上(例…やまのいろり)の文字を自身で連綿してみる。			○	【知識及び技能】 ・4種類の連綿を理解している。 ・2文字ずつ連綿で書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 前後の文字によって4種類の連綿を使い分けて表現できる。 ・何文字まで連綿するか、考えて工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 単体仮名の書き方とは異なる表現をしようとしている。 ・平仮名と変体仮名を組み合わせ連綿している。	○	○	○	4
	単元…仮名の書・古典かなの臨書。 【知識及び技能】 基本的な仮名の線を用いて古典仮名を正確に臨書することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 連綿を用いて書かれた古典を正確に理解し、表現を工夫出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 古典かなの美を理解・鑑賞し、表現に活かそうとしている。	これまでに習得してきた仮名の線質、仮名の外形、変体仮名、連綿をもとにして古典を臨書する。「蓬萊切」「高野切」「三色紙」など。			○	【知識及び技能】 ・流暢な連綿線で臨書することができる。 ・墨継ぎ箇所まで理解して臨書している。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な墨の濃度に加減して書くことができる。 ・書かれている内容まで理解して臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 文字サイズまで正確に臨書している。 ・料紙など文字以外の美についても鑑賞しようとしている。	○	○	○	6
	単元…漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 これまでに学んだ仮名の知識をもとに漢字と仮名をバランス良く交えて書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 古典を生かした様々な表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な表現を比べて文の内容に相応しい表現を探している。	漢字と仮名の混じった詩文を選択する、もしくは作る。文字の展開、行の構成を考え、工夫して草稿を作る。			○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 これまでに学んだ漢字の古典を活かしている。 ・漢字と調和のとれた仮名を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 幾つかの表現を比較してより効果的な表現を模索している。 ・鑑賞のための言葉の語彙を増やそうとしている。	○	○	○	2
	単元…漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 用具用材の知識や線質の変化によって、漢字と仮名をバランス良く書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 用具用材や線質に適した紙面構成を工夫し、表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な表現を比べて文の内容に相応しい表現を探そうとしている。	・継ぎ紙の技法をもって料紙を作る。 ・色紙の形式に則って散らし書きをする。 ・古筆の技法を活かして創作をする。 ・まとめとして定期テストを行う。			○	【知識及び技能】 漢字と調和のとれた仮名を工夫して、書くことができる。 ・用具用材、線質、構成まで工夫している。 【思考力、判断力、表現力等】 これまでに学んだ漢字の古典を活かしている。 ・漢字と調和のとれた仮名を工夫している。 ・用具用材にも注意を払って幅広い表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 幾つかの表現を比較してより効果的な表現を模索している。 ・鑑賞のための言葉の語彙を増やそうとしている。	○	○	○	4

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：4 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（1組：竹中）（2組：平田）（3組：佐藤）（4組：中村）（5組：竹中）（6組：平田）（7組：中村）（8組：佐藤）

使用教科書：（ELEMENT English CommunicationⅠ（啓林館））

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙や表現・文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて、これらの知識を目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を培う。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を培う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙や表現・文法、言語の働きなどの理科を深めるとともに、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、これらの知識を目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	Lesson 1 Intercultural Relationships 【知識及び技能】（知識） エリザ・シドモアについて書かれた物語文を読み取る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力など】 あらすじを発表するために、エリザ・シドモアについて書かれた物語文を読んで、概要をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等など】 あらすじを発表するために、エリザ・シドモアについて書かれた物語文を読んで、概要を捉えようとする態度を養う。	＜異文化交流・女性＞ ・強弱のリズム・イントネーションを聞き取る。 ・海外の高校生に日本の文化を紹介する計画についての会話を聞き取る。 ・Scidmore's Cherry Treesを読み、概要を理解する。 ・英語の5文型、受動態、to不定詞を用いた文の構造を理解する。 ・ワシントンの桜についての物語を読み、その内容についてリテリングを行う。 ・自分のことについてクラスメートと情報を伝え合う。 ・アメリカからの交換留学生に、自己紹介のメールを書く。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 （知識）5文型、受動態、to不定詞を理解している。 （技能）エリザ・シドモアについて書かれた物語文を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 あらすじを発表するために、エリザ・シドモアについて書かれた物語文を読んで、概要を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 あらすじを発表するために、エリザ・シドモアについて書かれた物語文を読んで、概要を捉えようとしている。	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
	Lesson 2 Love beyond Species 【知識及び技能】 ペットに関する語彙や、つながりやすい音・変化しやすい音の特徴や決まりを理解するとともに、ペットについての対話を聞きとる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力など】友人からの依頼を理解するために、ペットについての説明を聞いて、概要や必要な情報を捉える。 【学びに向かう力、人間性等など】友人からの依頼を理解するために、ペットについての説明を聞いて、概要や必要な情報を捉えようとする態度を養う。	＜動物・友情＞ ・つながりやすい音・変化しやすい音を聞き取る。 ・ペットを友人に預ける際の注意点を聞き取る。 ・Christian the Lionを読み、概要を理解する。 ・現在完了形／現在完了進行形、分詞の限定用法を用いた文の構造を理解する。 ・ペットとして飼われたライオンの物語を読み、その内容についてリテリングを行う。 ・ペットを飼いたい子どもと反対する親という設定でロールプレイを行う。 ・Christian the Lionのストーリー・レポートを書く。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 （知識）ペットに関する語彙や、つながりやすい音・変化しやすい音の特徴や決まりを理解している。 （技能）ペットについての対話を聞きとる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 友人からの依頼を理解するために、ペットについての説明を聞いて、概要や必要な情報を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 友人からの依頼を理解するために、ペットについての説明を聞いて、概要や必要な情報を捉えようとしている。	○	○	○	15
	Lesson 3 Contributing to Our Planet 【知識及び技能】 関係代名詞、使役動詞を理解するとともに、読んだ英文の内容を相手に知らせるために、若者の環境への取り組みについて、絵や写真をしながら概要を話して伝えている技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 読んだ英文の内容を相手に知らせるために、若者の環境への取り組みについて、絵や写真を見ながら概要を話して伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 読んだ英文の内容を相手に知らせるために、若者の環境への取り組みについて、絵や写真を見ながら概要を話して伝えようとする態度を養う。	＜環境・社会貢献＞ ・弱くなる音、短縮形を聞き取る。 ・使い捨てのビニール袋とエコバッグのメリット・デメリットを聞き取る。 ・Bye Bye Plasticsを読み、概要を理解する。 ・関係代名詞、使役動詞を用いた文の構造を理解する。 ・バリ島のプラスチック問題についての英文を読み、その内容についてリテリングを行う。 ・身近な環境問題とその解決策について話し合う。 ・アメリカからの交換留学生にボランティアに参加するように誘うメールを書く。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 （知識）関係代名詞、使役動詞を理解している。 （技能）読んだ英文の内容を相手に知らせるために、若者の環境への取り組みについて、絵や写真を見ながら概要を話して伝えている。 【思考・判断・表現】 読んだ英文の内容を相手に知らせるために、若者の環境への取り組みについて、絵や写真を見ながら概要を話して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 読んだ英文の内容を相手に知らせるために、若者の環境への取り組みについて、絵や写真を見ながら概要を話して伝えようとしている。	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
	Further Reading 1 Toward Sustainable Development Goals Communication in Practice 1 【知識及び技能】 SDGsについてのスピーチを読み、情報を事実と意見に整理する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 SDGsについてのスピーチを読み、同じ若者として何をすべきかを考え伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 SDGsについてのスピーチを読み、同じ若者として何をすべきかを考え伝える態度を養う。	＜現代社会＞ ・SDGsについてのスピーチを読み、情報を事実と意見に整理する。 ・アミューズメントパークのパンフレットを読み、必要な情報を取り取る。 ・どの順番でアクションやアクティビティ、昼食を回るかについて話し合う。 ・これまで行ったことのあるアミューズメントパークについての感想を書き、SNSに投稿する。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 SDGsについてのスピーチを読み、情報を事実と意見に整理する力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 SDGsについてのスピーチを読み、同じ若者として何をすべきかを考え伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 SDGsについてのスピーチを読み、同じ若者として何をすべきかを考え伝えている。	○	○	○	7

2 学 期	Lesson 4 Messages for World Peace 【知識及び技能】 過去時制や使役動詞を理解するとともに、平和について、自分の体験や考えを書いて伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 クラスメイトと考えを共有するために、平和について、自分の体験や考えを書いて伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトと考えを共有するために、平和について、自分の体験や考えを書いて伝えようとしている態度を養う。	<戦争・平和> ・博物館を訪れた生徒に先生がしている諸注意を聞き取る。 ・Twice Bombed、Twice Survivedを読み、登場人物の心情を理解する。 ・過去完了形、知覚動詞を用いた文の構造を理解する。 ・二重被爆についての物語を読み、その内容についてリテリングを行う。 ・山口さんの願いを継ぐために自分たちがすべきことについてディスカッションをする。 ・平和について自分の意見を書く。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 <知識> 過去時制や使役動詞を理解している。 <技能> 平和について、自分の体験や考えを書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 クラスメイトと考えを共有するために、平和について、自分の体験や考えを書いて伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 クラスメイトと考えを共有するために、平和について、自分の体験や考えを書いて伝えようとしている。	○	○	○	15
	Lesson 5 Respecting Each Other 【知識及び技能】 関係代名詞のwhat、関係副詞を理解するとともに、アメリカのメジャーリーグで実際にあった出来事について、物語の概要を話して伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 読んだ英文の内容を相手に知らせるために、アメリカのメジャーリーグで実際にあった出来事について、絵や写真を見ながら概要を話して伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 読んだ英文の内容を相手に知らせるために、アメリカのメジャーリーグで実際にあった出来事について、絵や写真を見ながら概要を話して伝えようとする態度を養う。	<スポーツ・人間愛> ・身近な人や物について話している会話を聞き取る。 ・Nobody's Perfectを読み、登場人物の心情をおさえ、概要を理解する。 ・関係代名詞のwhat、関係副詞を用いた文の構造を理解する。 ・野球の投手と誤審を行った審判についての物語を読み、その内容についてリテリングを行う。 ・イラストを見て、状況を説明する。 ・示された状況に沿って感謝の気持ちを伝えるとともに行事に招待する。 ・困難な状況にある友人を元気づける電子メールを書く。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 <知識> 関係代名詞のwhat、関係副詞を理解している。 <技能> アメリカのメジャーリーグで実際にあった出来事について、物語の概要を話して伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 読んだ英文の内容を相手に知らせるために、アメリカのメジャーリーグで実際にあった出来事について、絵や写真を見ながら概要を話して伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 読んだ英文の内容を相手に知らせるために、アメリカのメジャーリーグで実際にあった出来事について、絵や写真を見ながら概要を話して伝えようとしている。	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
	Lesson 6 Language and Culture 【知識及び技能】WH Questionや興味・関心を示す表現を理解するとともに、好きなアニメや漫画などについて、質問したり、回答したり、興味を示したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 友人の話に興味があることを示すために、好きなアニメや漫画などについて、あいづちを打ったりしながら、質問や回答を話して伝え合う力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 友人の話に興味があることを示すために、好きなアニメや漫画などについて、あいづちを打ったりしながら、質問や回答を話して伝え合うようとする態度を養う。	<言語・文学> ・ラジオニュースを聞き取る。 ・The Power of Wordsを読み、概要を理解する。 ・関係代名詞の非限定用法、分詞構文を用いた文の構造を理解する。 ・作家のスピーチを読み、その内容についてリテリングを行う。 ・好きなアニメや漫画、映画について発表する。 ・相手の話に対して興味があることを示す。 ・日本文化が楽しめる場所を例示しながら説明する文章を書く。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】（知識）WH Questionや興味・関心を示す表現を理解している。 <技能> 好きなアニメや漫画などについて、質問したり、回答したり、興味などを示したりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 友人の話に興味があることを示すために、好きなアニメや漫画などについて、あいづちを打ったりしながら、質問や回答を話して伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 友人の話に興味があることを示すために、好きなアニメや漫画などについて、あいづちを打ったりしながら、質問や回答を話して伝え合おうとしている。	○	○	○	15
	Further Reading 2 Pictures without Shadows Communication in Practice 2 【知識及び技能】 モード・ルイスについてのエッセイへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 モード・ルイスについてのエッセイを読み、彼女の絵がカナダで今も愛されている理由を考え表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 モード・ルイスについてのエッセイを読み、彼女の絵がカナダで今も愛されている理由を考え表現しようとする態度を養う。	<芸術・女性> ・モード・ルイスについてのエッセイを読み、概要を理解する。 ・国際ボランティアの案内を読み、必要な情報を読み取る。 ・どのボランティアに参加するかを話し合う。 ・国際ボランティアへの参加フォームに記入する。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 モード・ルイスについてのエッセイについての理解を深めている。 【思考・判断・表現】 モード・ルイスについてのエッセイを読み、彼女の絵がカナダで今も愛されている理由を考え表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 モード・ルイスについてのエッセイを読み、彼女の絵がカナダで今も愛されている理由を考え表現しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査								○	○		1

3 学 期	Lesson 7 Technology and Discoveries 【知識及び技能】 形式主語のit、be動詞の補語になるthat節を理解するとともに、思わぬ発見をする才能について書かれた説明文を読み取る技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 あらすじを発表するために、思わぬ発見をする才能について書かれた説明文を読み概要をとらえる力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 あらすじを発表するために、思わぬ発見をする才能について書かれた説明文を読み概要をとらえようとする態度を養う。	<科学技術・医学> ・科学イベントのスケジュールと講演の内容を読み取る。 ・Serendipityを読み、概要を理解する。 ・形式主語のit、be動詞の補語になるthat節を用いた文の構造を理解する。 ・偶然の発見による発明についての英文を読み、その内容についてリテリングを行う。 ・歴史上最も偉大な発明は何かについて話し合う。 ・電子書籍より紙の書籍を好む理由を対比しながら書く。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 <知識> 形式主語のit、be動詞の補語になるthat節を理解している。 <技能> 思わぬ発見をする才能について書かれた説明文を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 あらすじを発表するために、思わぬ発見をする才能について書かれた説明文を読み概要を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 あらすじを発表するために、思わぬ発見をする才能について書かれた説明文を読み、概要を捉えようとしている。	○	○	○	14
	Lesson 8 Standing Up for Human Rights Communication in Practice 3 【知識及び技能】 分詞の限定用法や確認の表現(What do you mean?)などを理解するとともに、人権に関する身近な事柄についての対話を聞き取る技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 人権についての理解を深めるために、人権に関する身近な事柄についての対話を聞いて、概要をとらえる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 人権についての理解を深めるために、人権に関する身近な事柄についての対話を聞いて、概要をとらえようとする態度を養う。	<人権・スポーツ> ・人権を守る試みについての会話を聞き取る。 ・Playing the Enemyを読み、登場人物の心情をおさえ、概要を理解する。 ・仮定法過去／仮定法過去完了、過去完了進行形を用いた文の構造を理解する。 ・ネルソン・マンデラとラグビーについての物語を読み、その内容についてリテリングを行う。 ・ある人物の経歴についてまとめ、発表する。 ・Playing the Enemy で人権に関する状況がどのように変わったかを時系列に沿って書く。 ・アパートの広告を読み、必要な情報を読み取る。 ・ウェブサイトの情報と親の希望をもとに、アパートを借りる際の条件について話し合い、アパートを決める。 ・アパートの見学の申し込みフォームに記入する。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 <知識> 分詞の限定用法や確認の表現(What do you mean?)などを理解している。 <技能> 人権に関する身近な事柄についての対話を聞き取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 人権についての理解を深めるために、人権に関する身近な事柄についての対話を聞いて、概要を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人権についての理解を深めるために、人権に関する身近な事柄についての対話を聞いて、概要を捉えようとしている。	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教 科： 外国語

科 目： 論理・表現Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： (1組：小幡・佐藤) (2組：中村・小幡) (3組：小幡・竹中) (4組：竹中・佐藤)
(5組：佐藤・中村) (6組：中村・小幡) (7組：川田・佐藤) (8組：平田・中村)

使用教科書： (EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ Advanced (数研出版))

教科 0 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙や表現・文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて、これらの知識を目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を培う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を培う。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考え、気持ちなどを話したり書いたりして表現している。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考え、気持ちなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」					
1 学 期	Lesson 1 Introduce yourself to your class 【知識及び技能】 ・〈S+V+C〉と〈S+V+O〉の意味・用法の違いを理解する。 ・〈S+V+C〉と〈S+V+O〉の文を用いて、クラスメートとインタビューをし合い、その内容についてクラスで発表する技能を身に付ける。 ・〈S+V+O+O〉と〈S+V+O+C〉の意味・用法の違いを理解する。 ・〈S+V+O+O〉や〈S+V+O+C〉の文を用いて、自己紹介の文章を書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相手のことを知るために、クラスメートに住んでいるところなどについて質問したり、答えたりする。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表する。 ・自分のことを知ってもらうために、自分の好きなことなどについての情報や気持ちを自己紹介の文章として書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・相手のことを知るために、クラスメートに住んでいるところなどについて質問したり、答えたりしようとする。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表しようとする。 ・自分のことを知ってもらうために、自分の好きなことなどについての情報や気持ちを自己紹介の文章として書こうとする。	・自分のことを話す ・質問をすることで相手について知る ・文型 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○		○	○	○	4
	Lesson 2 How do you spend your weekend? 【知識及び技能】 ・動詞の現在形・過去形・現在進行形の意味・用法を理解する。 ・動詞の過去形を用いて、自分が週末にしたことについてクラスメートとやりとりをし、その内容について発表する技能を身に付ける。 ・未来を表すwill, be going to, 現在進行形の意味・用法の違いを理解する。 ・未来を表すwill, be going to, 現在進行形を用いて、自分の週末の予定について伝える文章を書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が週末にしたことについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりする。また、その内容について整理し、クラスで発表する。 ・週末の予定にクラスメートを誘うために、自分の週末の予定についての情報を整理し、相手を招待するEメールの文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が週末にしたことについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。また、その内容について整理し、クラスで発表しようとする。 ・週末の予定にクラスメートを誘うために、自分の週末の予定についての情報を整理し、相手を招待するEメールの文章を書くこととする。	・週末にしたことを話す ・予定を尋ねて相手を誘う ・時制（現在・過去・進行形） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○		○	○	○	4
	定期考査								○	○	
2 学 期	Lesson 3 Where did you go on vacation? 【知識及び技能】 ・現在完了形の意味・用法を理解する。 ・現在完了形を用いて、自分が行ったことがある場所についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する技能を身に付ける。 ・現在完了進行形・過去完了形の意味・用法を理解する。 ・現在完了進行形・過去完了形を用いて、自分が行った旅行について伝える文章を書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が行ったことがある場所について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりする。また、その内容について整理し、発表する。 ・複数の人々に知ってもらうために、自分が行った旅行についての情報や自分の気持ちを伝える文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が行ったことがある場所についての情報などを整理し、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。また、その内容について整理し、発表しようとする。 ・複数の人々に知ってもらうために、自分が行った旅行についての情報や自分の気持ちを伝える文章を書くこととする。	・自分が行ったことのある場所について話したり、質問に答えたりする ・完了形（現在完了・過去完了・完了進行形） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○		○	○	○	4

2 学	Lesson 4 How can I get there? 【知識及び技能】 ・can, mayの意味・用法を理解する。 ・can, mayを用いて、ルート案内に関する会話のロールプレイをする技能を身に付ける。 ・must, have toの意味・用法を理解する。 ・must, have toを用いて、謝罪のメール文を書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・観光客に適切なルートの案内をするために、地図と経路を見ながら、案内する会話のロールプレイをする。 ・遅刻について謝罪するために、状況や自分の気持ちを整理し、メール文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・観光客に適切なルートの案内をするために、地図と経路を見ながら、案内する会話のロールプレイをしようとする。 ・遅刻について謝罪するために、状況や自分の気持ちを整理し、メール文を書こうとする。	・相手を案内する ・理由を整理して書く ・助動詞 ① ・一人1台端末の活用 等	○	(○)	○	○	○	【知識及び技能】 ・can, mayの意味・用法を理解している。 ・can, mayを用いて、ルート案内に関する会話のロールプレイをする技能を身に付けている。 ・must, have toの意味・用法を理解している。 ・must, have toを用いて、謝罪のメール文を書く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・観光客に適切なルートの案内をするために、地図と経路を見ながら、案内する会話のロールプレイをしている。 ・遅刻について謝罪するために、状況や自分の気持ちを整理し、メール文を書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・観光客に適切なルートの案内をするために、地図と経路を見ながら、案内する会話のロールプレイをしようとしている。 ・遅刻について謝罪するために、状況や自分の気持ちを整理し、メール文を書こうとしている。	○	○	○	4
	Lesson 5 Would you like to come with me? 【知識及び技能】 ・would, could, may[might]の意味・用法を理解する。 ・would, could, may[might]を用いて、出席予定のイベントにクラスメートを誘うロールプレイをする技能を身に付ける。 ・should have doneと must have doneの意味・用法を理解する。 ・should have doneを用いて、自分が後悔したことに關して述べる文章を書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをする。 ・自分の友人たちに伝えるために、自分が後悔したことについて、事実と自分の気持ちを整理し、述べる文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとする。 ・自分の友人たちに伝えるために、自分が後悔したことに關して、事実と自分の気持ちを整理し、述べる文章を書こうとする。	・イベントに招待する ・自分の気持ちを整理して書く ・助動詞 ② ・一人1台端末の活用 等	○	(○)	○	○	○	【知識及び技能】 ・would, could, may[might]の意味・用法を理解している。 ・would, could, may[might]を用いて、出席予定のイベントにクラスメートを誘うロールプレイをする技能を身に付けている。 ・should have doneと must have doneの意味・用法を理解している。 ・should have doneを用いて、自分が後悔したことに關して述べる文章を書く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしている。 ・自分の友人たちに伝えるために、自分が後悔したことについて、事実と自分の気持ちを整理し、述べる文章を書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとしている。 ・自分の友人たちに伝えるために、自分が後悔したことに關して、事実と自分の気持ちを整理し、述べる文章を書こうとしている。	○	○	○	4
	定期考査								○	○		1
	Lesson 6 Something really Japanese 【知識及び技能】 ・〈be動詞＋過去分詞〉（受動態）の意味・用法を理解する。 ・〈be動詞＋過去分詞〉を用いて、自分が選んだ商品についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する技能を身に付ける。 ・〈be動詞＋過去分詞〉（受動態）の意味・用法を理解する。 ・〈be動詞＋過去分詞〉を用いて、交換留学生の友だちを祭に誘うEメールを書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりする。また、その内容について整理し、発表する。 ・交換留学生の友だちを祭に誘うために、祭についての情報を整理し、Eメールを書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。また、その内容について整理し、発表しようとする。 ・交換留学生の友だちを祭に誘うために、祭についての情報を整理し、Eメールを書こうとする。	・自分が選んだ商品について相手に伝え、質問に答える ・情報を整理して相手に誘う文章を書く ・態 ・一人1台端末の活用 等	○	(○)	○	○	○	【知識及び技能】 ・〈be動詞＋過去分詞〉（受動態）の意味・用法を理解している。 ・〈be動詞＋過去分詞〉を用いて、自分が選んだ商品についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する技能を身に付けている。 ・〈be動詞＋過去分詞〉（受動態）の意味・用法を理解している。 ・〈be動詞＋過去分詞〉を用いて、交換留学生の友だちを祭に誘うEメールを書く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、発表している。 ・交換留学生の友だちを祭に誘うために、祭についての情報を整理し、Eメールを書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、発表しようとしている。 ・交換留学生の友だちを祭に誘うために、祭についての情報を整理し、Eメールを書こうとしている。	○	○	○	4
2 学	Lesson 7 Do you do any volunteer activities? 【知識及び技能】 ・to do（不定詞の名詞的用法・形容詞的用法）の意味・用法を理解する。 ・to doを用いて、自分が参加したいボランティア活動についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する技能を身に付ける。 ・to do（不定詞の副詞的用法）の意味・用法や、It is ... to do への意味・用法を理解する。 ・to doを用いて、自分の進路についての志望動機書を書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりする。また、その内容について整理し、発表する。 ・自分の進路について報告するために、自分の将来について、自分の考えや気持ちを整理し、志望動機書を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。また、その内容について整理し、発表しようとする。 ・自分の進路について報告するために、自分の将来について、自分の考えや気持ちを整理し、志望動機書を書こうとする。	・興味のある活動について話したり、質問に答えたりする ・将来の希望について書く ・不定詞 ① ・一人1台端末の活用 等	○	(○)	○	○	○	【知識及び技能】 ・to do（不定詞の名詞的用法・形容詞的用法）の意味・用法を理解している。 ・to doを用いて、自分が参加したいボランティア活動についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する技能を身に付けている。 ・to do（不定詞の副詞的用法）の意味・用法や、It is ... to do への意味・用法を理解している。 ・to doを用いて、自分の進路についての志望動機書を書く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、発表している。 ・自分の進路について報告するために、自分の将来について、自分の考えや気持ちを整理し、志望動機書を書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、発表しようとしている。 ・自分の進路について報告するために、自分の将来について、自分の考えや気持ちを整理し、志望動機書を書こうとしている。	○	○	○	4
	Lesson 8 Let's enjoy school life! 【知識及び技能】 ・〈want+0+to do〉や〈see+0+do〉などの意味・用法を理解する。 ・〈want+0+to do〉や〈see+0+do〉などを用いて、部活動に関するインタビューをする技能を身に付ける。 ・〈let+0+do〉、〈make+0+do〉の意味・用法の違いを理解する。 ・〈let+0+do〉などを用いて、学校行事に関するスピーチ原稿を書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりする。情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをする。 ・複数の人々に知ってもらうために、過去に行われた学校行事について、情報を整理して報告する文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりしようとする。情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとする。 ・複数の人々に知ってもらうために、過去に行われた学校行事について、情報を整理して報告する文章を書こうとする。	・自分の身の回りのことについてやり取りをする ・学校行事について整理して書く ・不定詞 ② ・一人1台端末の活用 等	○	(○)	○	○	○	【知識及び技能】 ・〈want+0+to do〉や〈see+0+do〉などの意味・用法を理解している。 ・〈want+0+to do〉や〈see+0+do〉などを用いて、部活動に関するインタビューをする技能を身に付けている。 ・〈let+0+do〉、〈make+0+do〉の意味・用法の違いを理解している。 ・〈let+0+do〉などを用いて、学校行事に関するスピーチ原稿を書く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりしている。情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしている。 ・複数の人々に知ってもらうために、過去に行われた学校行事について、情報を整理して報告する文章を書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりしようとしている。情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとしている。 ・複数の人々に知ってもらうために、過去に行われた学校行事について、情報を整理して報告する文章を書こうとしている。	○	○	○	4
	定期考査								○	○		1

二期	Lesson 9 Are you eco-friendly? 【知識及び技能】 ・doing（動名詞）の意味・用法を理解する。 ・doing（動名詞）を用いて、環境保護のためにできることについてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する技能を身に付ける。 ・remember doingとremember to doの意味・用法の違いを理解する。 ・remember doing, not doingを用いて、環境保護に関するスピーチ原稿を書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・環境保護のためにしていることについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりする。また、その内容について整理し、発表する。 ・自分で考えた環境保護に関するスローガンをクラスで発表するために、環境保護についての情報や自分の考えを整理し、述べる文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が環境保護のためにしていることについてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。また、その内容について整理し、発表しようとする。 ・自分で考えた環境保護に関するスローガンをクラスで発表するために、環境保護についての情報や自分の考えを整理し、述べる文章を書く。	・環境問題について意見を述べたり、意見を聞いたりする ・環境保護について情報を整理して自分の意見を書く ・動名詞 ・一人1台端末の活用 等	○	(○)	○	○	○	【知識及び技能】 ・doing（動名詞）の意味・用法を理解している。 ・doing（動名詞）を用いて、環境保護のためにできることについてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する技能を身に付けている。 ・remember doingとremember to doの意味・用法の違いを理解している。 ・remember doing, not doingを用いて、環境保護に関するスピーチ原稿を書く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・環境保護のためにしていることについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、発表している。 ・自分で考えた環境保護に関するスローガンをクラスで発表するために、環境保護についての情報や自分の考えを整理し、述べる文章を書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が環境保護のためにしていることについてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、発表しようとしている。 ・自分で考えた環境保護に関するスローガンをクラスで発表するために、環境保護についての情報や自分の考えを整理し、述べる文章を書こうとしている。	○	○	○	4
	Lesson 10 What sports do you like? 【知識及び技能】 ・doing/done（分詞）の限定用法の意味・用法を理解する。 ・doing（分詞）を用いて、スポーツイベントについてクラスメートとインタビューする技能を身に付ける。 ・doing/done（分詞）の叙述用法の意味・用法を理解する。 ・doing/done（分詞）を用いて、自分が最近したスポーツについてのブログを書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをする。 ・複数の人々に知ってもらうために、自分が最近したスポーツについての情報や自分の気持ちを伝える文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとする。 ・複数の人々に知ってもらうために、自分が最近したスポーツについての情報や自分の気持ちを伝える文章を書こうとする。	・スポーツについて情報を整理してやり取りをする ・スポーツについて情報を整理して書く ・分詞 ① ・一人1台端末の活用 等	○	(○)	○	○	○	【知識及び技能】 ・doing/done（分詞）の限定用法の意味・用法を理解している。 ・doing（分詞）を用いて、スポーツイベントについてクラスメートとインタビューする技能を身に付けている。 ・doing/done（分詞）の叙述用法の意味・用法を理解している。 ・doing/done（分詞）を用いて、自分が最近したスポーツについてのブログを書く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしている。 ・複数の人々に知ってもらうために、自分が最近したスポーツについての情報や自分の気持ちを伝える文章を書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとしている。 ・複数の人々に知ってもらうために、自分が最近したスポーツについての情報や自分の気持ちを伝える文章を書こうとしている。	○	○	○	4
	Lesson 11 That's new to me! 【知識及び技能】 ・〈see+0+doing〉や〈have+0+done〉などの意味・用法を理解する。 ・〈see+0+doing〉などを用いて、さまざまな国の労働時間や祝日の数についてクラスメートと話し合い、その内容について発表する技能を身に付ける。 ・分詞構文の意味・用法を理解する。 ・strictly speakingなどを用いて、ある特定の野菜や果物についてのパラグラフを書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな国の労働時間や祝日の数について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりする。また、その内容について整理し、クラスで発表する。 ・複数の人々に知ってもらうために、野菜と果物の違いについての情報を整理し、紹介する文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・さまざまな国の労働時間や祝日の数について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。また、その内容について整理し、クラスで発表しようとする。 ・複数の人々に知ってもらうために、野菜と果物の違いについての情報を整理し、紹介する文章を書こうとする。	・社会問題についてやり取りをしたり、発表したりする ・違いを説明する文章を書く ・分詞 ② ・一人1台端末の活用 等	○	(○)	○	○	○	【知識及び技能】 ・〈see+0+doing〉や〈have+0+done〉などの意味・用法を理解している。 ・〈see+0+doing〉などを用いて、さまざまな国の労働時間や祝日の数についてクラスメートと話し合い、その内容について発表する技能を身に付けている。 ・分詞構文の意味・用法を理解している。 ・strictly speakingなどを用いて、ある特定の野菜や果物についてのパラグラフを書く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな国の労働時間や祝日の数について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、クラスで発表している。 ・複数の人々に知ってもらうために、野菜と果物の違いについての情報を整理し、紹介する文章を書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・さまざまな国の労働時間や祝日の数について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、クラスで発表しようとしている。 ・複数の人々に知ってもらうために、野菜と果物の違いについての情報を整理し、紹介する文章を書こうとしている。	○	○	○	5
	定期考査								○	○		1

3 学 期	Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most? 【知識及び技能】 ・who, which, that (関係代名詞) の意味・用法の違いを理解する。 ・who, which (関係代名詞) などを用いて、日本人のノーベル賞受賞者についてクラスメートとやりとりをし、その内容について発表する技能を身に付ける。 ・関係代名詞の制限用法と非制限用法の意味・用法の違いを理解する。 ・関係代名詞whoの非制限用法などを用いて、自分の尊敬する人についてのパラグラフを書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本人のノーベル賞受賞者について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりする。また、その内容について整理し、クラスで発表する。 ・複数の人々に知ってもらうために、自分の尊敬する人についての情報や自分の考えを整理し、述べる文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本人のノーベル賞受賞者について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。また、その内容について整理し、クラスで発表しようとする。 ・複数の人々に知ってもらうために、自分の尊敬する人についての情報や自分の考えを整理し、述べる文章を書こうとする。	・社会的なトピックについてやり取りしたり、発表したりする ・尊敬する人物について情報を整理して書く ・関係代名詞 ・一人1台端末の活用 等	○	(○)	○	○	○	【知識及び技能】 ・who, which, that (関係代名詞) の意味・用法の違いを理解している。 ・who, which (関係代名詞) などを用いて、日本人のノーベル賞受賞者についてクラスメートとやりとりをし、その内容について発表する技能を身に付けている。 ・関係代名詞の制限用法と非制限用法の意味・用法の違いを理解している。 ・関係代名詞whoの非制限用法などを用いて、自分の尊敬する人についてのパラグラフを書く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本人のノーベル賞受賞者について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、クラスで発表している。 ・複数の人々に知ってもらうために、自分の尊敬する人についての情報や自分の考えを整理し、述べる文章を書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本人のノーベル賞受賞者について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、クラスで発表しようとしている。 ・複数の人々に知ってもらうために、自分の尊敬する人についての情報や自分の考えを整理し、述べる文章を書こうとしている。	○	○	○	5
	Lesson 13 I'm interested in history 【知識及び技能】 ・when, how (関係副詞) の意味・用法を理解する。 ・when, how (関係副詞) などを用いて、歴史上の偉人についてクラスメートとやりとりをし、その内容について発表する技能を身に付ける。 ・関係副詞whereの非制限用法などを用いて、日本の歴史的建造物について紹介するパラグラフを書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史上の偉人について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりする。また、その内容について整理し、発表する。 ・複数の人々に知ってもらうために、日本の歴史的建造物についての情報を整理し、紹介する文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歴史上の偉人について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。また、その内容について整理し、発表する。 ・複数の人々に知ってもらうために、日本の歴史的建造物についての情報を整理し、紹介する文章を書こうとする。	・歴史についてやり取りしたり、発表したりする ・歴史的建造物について情報を整理して書く ・関係副詞 ・一人1台端末の活用 等	○	(○)	○	○	○	【知識及び技能】 ・when, how (関係副詞) の意味・用法を理解している。 ・when, how (関係副詞) などを用いて、歴史上の偉人についてクラスメートとやりとりをし、その内容について発表する技能を身に付けている。 ・関係副詞whereの非制限用法などを用いて、日本の歴史的建造物について紹介するパラグラフを書く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史上の偉人について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、発表している。 ・複数の人々に知ってもらうために、日本の歴史的建造物についての情報を整理し、紹介する文章を書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歴史上の偉人について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、発表しようとしている。 ・複数の人々に知ってもらうために、日本の歴史的建造物についての情報を整理し、紹介する文章を書こうとしている。	○	○	○	5
	Lesson 14 Various countries around the world 【知識及び技能】 ・as ～ as, -er[more ～] than…の意味・用法を理解する。 ・as ～ as, -er[more ～] than…などを用いて、自分が行きたい国などについてクラスメートとやりとりをし、その内容について発表する技能を身に付ける。 ・not as ～ as..., -est[most ～] の意味・用法を理解する。 ・not as ～ as..., -est[most ～] などを用いて、2つの都市の気候の違いについて説明するレポートを書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が行きたい国などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりする。また、その内容について整理し、発表する。 ・複数の人々に知ってもらうために、2つの都市の気候の違いについて、グラフから読み取れる事実を整理して述べるレポートを書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が行きたい国などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。また、その内容について整理し、発表する。 ・複数の人々に知ってもらうために、2つの都市の気候の違いについて、グラフから読み取れる事実を整理して述べるレポートを書こうとする。	・自分の興味についてやり取りしたり、発表したりする ・グラフを読み取って情報を整理して書く ・比較 ・一人1台端末の活用 等	○	(○)	○	○	○	【知識及び技能】 ・as ～ as, -er[more ～] than…の意味・用法を理解している。 ・as ～ as, -er[more ～] than…などを用いて、自分が行きたい国などについてクラスメートとやりとりをし、その内容について発表する技能を身に付けている。 ・not as ～ as..., -est[most ～] の意味・用法を理解している。 ・not as ～ as..., -est[most ～] などを用いて、2つの都市の気候の違いについて説明するレポートを書く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が行きたい国などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、発表している。 ・複数の人々に知ってもらうために、2つの都市の気候の違いについて、グラフから読み取れる事実を整理して述べるレポートを書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が行きたい国などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、発表しようとしている。 ・複数の人々に知ってもらうために、2つの都市の気候の違いについて、グラフから読み取れる事実を整理して述べるレポートを書こうとしている。	○	○	○	5
	Lesson 15 What job are you interested in? 【知識及び技能】 ・仮定法過去 (If S' + 過去形 [were] ～, S would [could]…) の意味・用法を理解する。 ・仮定法過去 (If S' + 過去形 [were] ～, S would [could]…) を用いて、自分が興味のある職業についてクラスメートとやりとりをし、その内容について発表する技能を身に付ける。 ・仮定法過去と仮定法過去完了 (If S' had done ～, S would [could] have done…) の意味・用法の違いを理解する。 ・If I had done ～, I would [could] have done…を用いて、26歳の自分自身を想像して説明する文章を書く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が興味のある職業についてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりする。また、その内容について整理し、発表する。 ・26歳の自分自身を想像して、将来の職業などについて自分の考えや気持ちを整理して説明する文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が興味のある職業についてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。また、その内容について整理し、発表しようとする。 ・26歳の自分自身を想像して、将来の職業などについて自分の考えや気持ちを整理して説明する文章を書こうとする。	・自分の将来についてやり取りしたり、発表したりする ・自分が望む将来について情報を整理して書く ・仮定法 ・一人1台端末の活用 等	○	(○)	○	○	○	【知識及び技能】 ・仮定法過去 (If S' + 過去形 [were] ～, S would [could]…) の意味・用法を理解している。 ・仮定法過去 (If S' + 過去形 [were] ～, S would [could]…) を用いて、自分が興味のある職業についてクラスメートとやりとりをし、その内容について発表する技能を身に付けている。 ・仮定法過去と仮定法過去完了 (If S' had done ～, S would [could] have done…) の意味・用法の違いを理解している。 ・If I had done ～, I would [could] have done…を用いて、26歳の自分自身を想像して説明する文章を書く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が興味のある職業についてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、発表している。 ・26歳の自分自身を想像して、将来の職業などについて自分の考えや気持ちを整理して説明する文章を書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が興味のある職業についてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、発表しようとしている。 ・26歳の自分自身を想像して、将来の職業などについて自分の考えや気持ちを整理して説明する文章を書こうとしている。	○	○	○	5
	定期考査								○	○		1

合計

70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教 科： 情報 科 目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～8組：矢作）

使用教科書：（実教出版 情Ⅰ705 最新情報Ⅰ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】情報や情報技術を活用し、社会の問題を解決する手段について理解を深め技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】情報や情報技術を駆使し、社会の問題を解決をする思考力を高め、表現する能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を活用し、社会の問題を解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付ける。また、情報化が進んだ社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解する。	情報や情報技術を駆使し、問題の解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いることができる。また効果的に表現できる。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	問題解決 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決に関するレポートの提出 【学びに向かう力、人間性等】 他者との相談、協力	・情報を学ぶ意義 ・ガイダンス ・問題解決の方法 ・入力スキルの向上 ・暗号化の技術	【知識・技能】 問題演習、小テスト、他 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み、他 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、自由課題の取り組み、他	○	○	○	5
	情報通信ネットワーク 【知識及び技能】 用語、変遷の理解 【思考力、判断力、表現力等】 インターネット誕生に関するレポート提出 【学びに向かう力、人間性等】 用語等の自発的な調査・研究	・コンピュータ史 ・インターネット史 ・情報通信ネットワーク ・インターネットプロトコル ・IPアドレスとドメイン名 ・WWWの仕組み ・メールの仕組み	【知識・技能】 問題演習、小テスト、他 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み、他 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、自由課題の取り組み、他	○	○	○	7
	必須課題	問題解決の方法についての課題			○	○	-
	情報デザインと表現 【知識及び技能】 デザインの知識や方法の習得 【思考力、判断力、表現力等】 情報デザインに関するレポート提出 【学びに向かう力、人間性等】 課題に対する積極性	・検索スキルの向上 ・情報デザイン ・ピクトグラム創案 ・HTML実習 （WEBページ作成）	【知識・技能】 問題演習、他 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み、他 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、自由課題の取り組み、他	○	○	○	6
	情報モラル 【知識及び技能】 用語や法律の知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 用語等に関する問題演習 【学びに向かう力、人間性等】 用語等の自発的な調査・研究	・著作権 ・コンピュータウイルス ・悪質なメール ・違法行為、犯罪行為 ・情報モラル（映像実習）	【知識・技能】 問題演習、他 【思考・判断・表現】 発言、実習課題の取り組み、他 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、自由課題の取り組み、他	○	○	○	6
	必須課題 授業内小テスト、返却解説	問題集 CBTテスト（エクセル）		○	○	○	2
2 学 期	ビジネススキルの習得 【知識及び技能】 表やグラフの表現技術の習得 【思考力、判断力、表現力等】 表やグラフの作成 【学びに向かう力、人間性等】 他者との相談、協力	・ビジネススキルについて ・プレゼン発表の方法 ・エクセル操作の実習 ・表やグラフの作成	【知識・技能】 課題の取り組み、他 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み、他 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、自由課題の取り組み、他	○	○	○	7
	レポート表現の向上 【知識及び技能】 レポート表現の向上 【思考力、判断力、表現力等】 実験レポートの書き方に 関するレポート提出 【学びに向かう力、人間性等】 課題に対する積極性	・実験レポートの書き方 ・結果と考察、参照と引用 ・誤差と有効数字 ・最小二乗法	【知識・技能】 課題の取り組み、他 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み、他 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、自由課題の取り組み、他	○	○	○	7
	必須課題	レポートの書き方についての課題			○	○	-

2 学 期	情報のデジタル化 【知識及び技能】 デジタル化に関する知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 用語等に関する問題演習 【学びに向かう力、人間性等】 用語等の自発的な調査・研究	・アナログとデジタルの違い ・デジタル化の仕組み ・データの圧縮技術 ・データ量の計算 ・2進数16進数の変換と筆算 ・FAXの仕組み ・バーコードの仕組み	【知識・技能】 問題演習、小テスト、他 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み、他 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、自由課題の取り組み、他	○	○	○	7
	情報デザインと人生設計 【知識及び技能】 人生設計、家の設計の知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 将来住みたい家の設計 【学びに向かう力、人間性等】 他者との相談、協力	・人生設計 ・将来住みたい家の設計 ・イエスマイハウス実習 ・マイキャリアプランの作成	【知識・技能】 課題の取り組み、他 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み、他 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、自由課題の取り組み、他	○	○	○	7
	必須課題 授業内小テスト、返却解説	問題集 CBTテスト（エクセル）		○	○	○	2
3 学 期	コンピュータとプログラミング 【知識及び技能】 プログラミング技能の習得 【思考力、判断力、表現力等】 プログラム作品の作成 【学びに向かう力、人間性等】 他者との相談、協力	・アルゴリズム ・エクセルマクロ実習 （2次方程式の解マクロ） ・アルゴリズム体験 ・負の数と補数の概念 ・論理演算と真理値表 ・半加算回路と2進数の足し算	【知識・技能】 問題演習、小テスト、他 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み、他 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、自由課題の取り組み、他	○	○	○	8
	モデル化とシミュレーション 【知識及び技能】 用語等の知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 モデル化とシミュレーション に関するレポート提出 【学びに向かう力、人間性等】 課題に対する積極性	・モデル化とシミュレーション ・モデル化とシミュレーションの実例 ・モンテカルロ法の実習	【知識・技能】 問題演習、小テスト、他 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み、他 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、自由課題の取り組み、他	○	○	○	6
	必須課題	モデル化とシミュレーションの課題 問題集	課題提出を考査試験に代替	○	○	○	合計 70

高等学校 令和6年度（1学年用）

総合的な探究の時間

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：米谷）（2組：蛭牟田）（3組：佐藤）（4組：中村）（5組：黒澤）（6組：芥川）（7組：山口）（8組：宮原）
使用教科書：（ ）

教科 0 の目標： 探究活動を通じて、自ら課題を発見し解決していく資質・能力を養い、よりよい社会の実現のために主体的に行動できる人材を育成する。

【知識及び技能】生徒各自が課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成する。

生徒各自が実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。

生徒各自が探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付ける。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生徒各自が課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成する。	生徒各自が実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。	生徒各自が探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	探究入門 【知識及び技能】 探究学習の意義や価値、取り組み内容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら問いを立て、その解決策を見出すための情報を収集し、整理・分析させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に課題解決に取り組ませる。	・探究学習の意義について考えさせる。また、講義を聞いて課題研究の方法について理解させ、自らリサーチクエスチョンを設定し、情報収集・分析を行った後、研究内容をまとめ、発表させる。 ・一人1台端末を積極的に活用させる。	【知識・技能】 現代社会の諸問題を解決するために必要な知識を文献調査などや統計分析によって収集し、整理・分析できる。 【思考・判断・表現】 予測不能な時代をいかに生きるかについて自分が抱く疑問や考えを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会が抱える諸問題の解決策を主体的に見出そうと取り組んでいる。	○	○	○	15
	進路（企業）研究 【知識及び技能】 自身の生き方や価値観の参考となる情報を収集し、効果的に他者に伝える技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題解決に必要な情報を整理・分析し、わかりやすく表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報の収集・分析に自ら主体的に取り組ませる。	・加速度的に変化する現代社会の中で、解決すべき課題を発見し、その解決策を見出す、他者と協働しながら実際に解決に導く過程を経験的に学ばせる。 ・一人1台端末を積極的に活用させる。	【知識・技能】 ワークショップを通じて、調査研究した内容を効果的に発表する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ワークショップで身に付けた技能を生かし、自ら調査・研究した内容を他者と協働しながら発展させられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークショップを通じて、主体的に調査・分析に取り組んでいる。	○	○	○	11
2 学 期	職業（企業）研究 【知識及び技能】 今日の社会の中で各企業が社会貢献のためにどのような取り組みを行っているか理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題解決に必要な情報を整理・分析し、わかりやすく表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報の収集・分析に自ら主体的に取り組ませる。	・各企業が提示する社会貢献のための課題について、情報収集、調査・研究を行い発表させる。 ・一人1台端末を積極的に活用させる。	【知識・技能】 各企業が社会貢献のためにどのような取り組みを行おうとしているかを理解できる。 【思考・判断・表現】 企業が社会貢献のために取り組んでいる課題に対し、高校生の立場からその解決策を考察し、効果的に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 解決策の提示のため、情報の収集や整理・分析を主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	国際理解研究 【知識及び技能】 異文化理解を深めるために必要な基本的知識や概念を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 今日の国際社会における様々な問題の解決策を考察し、自分の考えを他者と共有、深化させる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報の収集・分析に自ら主体的に取り組ませる。	・異文化理解に関する講義を聞き、習慣や思考法の違いが原因で起こる問題を理解させ、そのような問題を具体的に生徒各自に取り上げさせ、考察させる。 ・一人1台端末を積極的に活用させる。	【知識・技能】 異文化間における問題が、どのような原因で、どのように形で表れてくるかを理解できる。 【思考・判断・表現】 異文化間における諸問題の解決策を、論文や統計調査資料なども活用して効果的に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 解決策の提示のため、情報の収集や整理・分析を主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	9
3 学 期	国際理解研究 【知識及び技能】 異文化理解を深めるために必要な基本的知識や概念を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 今日の国際社会における様々な問題の解決策を考察し、自分の考えを他者と共有、深化させる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報の収集・分析に自ら主体的に取り組ませる。	・異文化理解に関する講義を聞き、習慣や思考法の違いが原因で起こる問題を理解させ、そのような問題を具体的に生徒各自に取り上げさせ、考察させる。 ・一人1台端末を積極的に活用させる。	【知識・技能】 異文化間における問題が、どのような原因で、どのように形で表れてくるかを理解できる。 【思考・判断・表現】 異文化間における諸問題の解決策を、論文や統計調査資料なども活用して効果的に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 解決策の提示のため、情報の収集や整理・分析を主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	理数探究 【知識及び技能】 環境問題や情報技術をめぐる諸問題等について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 環境問題や情報技術に伴う問題の解	・今日の環境問題や情報技術をめぐる諸問題に関する講義を聞き、生徒各自が解決すべき問題を設定し、解決策を考察させる。 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 今日の環境問題や情報技術の発展に伴う諸問題について理解できる。 【思考・判断・表現】 環境問題や情報技術の問題に対する解決策を、論文や統計調査資料の活用や自ら行う実	○	○	○	15

	【学びに向かう力、人間性等】 情報の収集・分析に自ら主体的に取り組ませる。	【主体的に学習に取り組む態度】 解決策の提示のため、情報の収集や整理・分析を主体的・協働的に取り組んでいる。				合計
						70